

新型 BMW 3 シリーズ 目次



新型 BMW 3 シリーズのモデルバリエーション	3
新型 BMW 3 シリーズ はじめに.....	6
エクステリア モダン、ダイナミック、紛れもない存在感。 すべての駆動方式で一貫したデザイン。	13
インテリア 魅力的でモダン、そしてスポーティな雰囲気。 ドライビングへの明確なこだわり。	19
ディスプレイとオペレーティング・システム、デジタルユーザー体験 BMW ならではの「ドライバー重視」の姿勢を新たな形で再構築.....	24
駆動システムとバッテリー あらゆる駆動方式において、模範的な効率性と 心躍るダイナミズムを実現.....	34
BMW の充電 「Neue Klasse」モデルは、革新的な充電ソリューションにより、 充電速度が飛躍的に向上.....	41
ドライビング・ダイナミクス 駆動システムを問わず、本物の業界基準となる BMW 3 シリーズ。 モダンでスポーティ、正確かつ快適。	47
「Superbrain」と呼ばれる 高性能コンピューターと新アーキテクチャ より高速な演算処理、より柔軟なアップデート.....	54
ドライバー・アシスタンス・システム BMW Symbiotic Drive が、 アシスト・ドライビングの楽しさに新たな可能性を切り拓く	56
生産 あらゆる駆動システムに対応した 最先端の工場。 高効率、柔軟性、そしてデジタル化を実現。	61
製造と製品設計におけるサステナビリティ ライフサイクル全体にわたる脱炭素化	66
新型 BMW 3 シリーズ コメント	67
新型 BMW 3 シリーズ 関連リンク	69
新型 BMW 3 シリーズ FAQ ¹	70

2026 年 9 月
2

1 「新開発」や「画期的」といった表現は、BMW の「ノイエ・クラスセ」車両における技術や革新が、従来の車両と比較してどのようなものであるかを示すものです。これらの技術や革新は、「ノイエ・クラスセ」の最初のモデルである BMW iX3 とともに導入されました。

技術仕様は ACEA 市場に適用されるものであり、登録関連データについては、場合によってはドイツのみに該当するものです。すべての数値は暫定値です。

本プレスリリースに記載されている装備、燃料／電力消費量、および CO₂ 排出量の数値はすべて、ドイツ市場に関するものです。他の市場では異なる場合があります。

新型 BMW 3 シリーズのモデルバリエーション



BMW M350 xDrive :

直列 6 気筒ガソリンエンジン、48V マイルドハイブリッド技術、
8 速ステップトロニック・トランスミッション、BMW xDrive

駆動システム全体 :

最高出力 : 326 kW/443 hp、最大トルク : 580 Nm (428 lb-ft)

BMW TwinPower Turbo エンジン :

排気量 : 2,998 cc

定格出力 : 313 kW/426 hp (5,600 rpm)

定格トルク : 540 Nm (398 lb-ft) / 1,980–5,400 rpm

電気モーター :

定格出力 : 13 kW/18 hp

定格トルク : 200 Nm (147 lb-ft)

性能・燃費・排出ガス :

加速 [0 – 100 km/h (62 mph)] : 4.1 秒

最高速度 : 250 km/h (155 mph)

複合燃費 (WLTP) : 8.2 l/100 km (34.5 mpg imp)¹

複合 CO₂排出量 (WLTP) : 187 g/km¹

CO₂ クラス : G¹

BMW 320 :

直列 4 気筒ガソリンエンジン、48V マイルドハイブリッド技術、
8 速ステップトロニック・トランスミッション

駆動システム全体 :

最高出力 : 155 kW/211 hp、最大トルク : 330 Nm (243 lb-ft)

BMW TwinPower Turbo エンジン :

排気量 : 1,998 cc

定格出力 : 5,000 rpm で 155 kW/211 hp

定格トルク : 330 Nm (243 lb-ft) / 1,500–4,400 rpm

性能／燃費／排出ガス :

加速 [0 – 100 km/h (62 mph)] : 7.4 秒

最高速度 : 240 km/h (149 mph)

複合燃費 (WLTP) : 7.5 l/100 km (37.7 mpg imp)¹

複合 CO₂排出量 (WLTP) : 169 g/km¹

CO₂ クラス : F¹

1 記載された数値は、規定の WLTP 測定手順に基づいて算出されたものです。実際の数値は、積載量、運転スタイル、走行ルート、天候、補助消費機器（空調システムを含む）、タイヤ、バッテリーの状態など、さまざまな要因によって異なります。

BMW 318 :

直列 4 気筒ガソリンエンジン、48V マイルドハイブリッド技術、
8 速ステップトロニック・トランスミッション

駆動システム全体 :

最高出力 : 115 kW/156 hp、最大トルク : 250 Nm (184 lb-ft)

BMW TwinPower Turbo エンジン :

排気量 : 1,998 cc

定格出力 : 5,000 rpm で 115 kW/156 hp

定格トルク : 250 Nm (184 lb-ft) / 1,400–4,300 rpm

性能／燃費／排出ガス :

加速 [0 – 100 km/h (62 mph)] : 9.5 秒

最高速度 : 215 km/h (134 mph)

複合燃費 (WLTP) : 7.5 l/100 km (37.7 mpg imp) ¹

複合 CO₂排出量 (WLTP) : 169 g/km¹

CO₂ クラス : F¹

1 記載された数値は、規定の WLTP 測定手順に基づいて算出されたものです。実際の数値は、積載量、運転スタイル、走行ルート、天候、補助消費機器（空調システムを含む）、タイヤ、バッテリーの状態など、さまざまな要因によって異なります。

BMW i3 50 xDrive :

第 6 世代 BMW eDrive、800V テクノロジー、および新型円筒形セルを採用した高電圧バッテリー

EESM および ASM 技術を搭載した 2 基の高効率電気モーター

最大出力 : 345 kW/469 hp

最大トルク : 645 Nm (475 lb-ft)

フロントモーター :

定格出力 : 123 kW/167 hp (4,607 rpm 時)

定格トルク : 255 Nm (188 lb-ft) (0–4,607 rpm)

後部モーター :

定格出力 : 240 kW/326 hp (5,500 rpm)

定格トルク : 435 Nm (321 lb-ft) / 0–5,000 rpm

複合航続距離 (WLTP) : 最大 912 km (567 マイル) ¹

DC 充電速度 : 最大 400 kW

– 10 分間の充電で追加される航続距離 : 最大 423 km (263 マイル)
(WLTP サイクルにおける ISO 12906 に準拠) ¹

AC Charging Professional : 最大 22 kW

双方向充電

性能／燃費／排出ガス :

加速 [0 – 100 km/h (62 mph)] : 4.7 秒
最高速度 : 200 km/h (124 mph)
複合電力消費量 (WLTP) : 18.0–13.4 kWh/100 km²
複合 CO₂排出量 (WLTP) : 0 g/km²、CO₂クラス : A²

¹ 10 分間の高出力充電による航続距離の増加量は、ISO 12906 に準拠して WLTP サイクルで測定されたものであり、充電インフラが最大 DC 充電出力を可能とすることを前提としています。実際の航続距離の増加量および充電性能は、車両の装備、バッテリーの充電状態・状態、周囲温度・バッテリー温度、走行プロファイル、補助消費機器、車両固有の充電設定、および充電ステーションで提供される充電出力によって異なります。

² 記載された数値は、規定の WLTP 測定手順に基づいて算出されたものです。実際の値は、積載量、運転スタイル、走行ルート、天候、補助消費機器（空調システムを含む）、タイヤ、バッテリーの状態など、さまざまな要因によって異なります。

BMW i3 40 xDrive :

第 6 世代 BMW eDrive、800V 技術、および新型円筒形セルを採用した高電圧バッテリー

EESM および ASM 技術を搭載した 2 基の高効率電気モーター

最大出力 : 275 kW/374 hp

最大トルク : 520 Nm (383 lb-ft)

フロントモーター :

定格出力 : 123 kW/167 hp (4,607 rpm 時)

定格トルク : 255 Nm (188 lb-ft) (0–4,607 rpm)

後部モーター :

定格出力 : 195 kW/265 hp (6,000 rpm)

定格トルク : 345 Nm (254 lb-ft) / 0–5,000 rpm

複合航続距離 (WLTP) : 最大 710 km (441 マイル) ¹

DC 充電速度 : 最大 300 kW

– 10 分間の充電で追加される航続距離 : 最大 337 km (209 マイル)
(WLTP サイクルにおける ISO 12906 に準拠) ¹

AC Charging Professional : 最大 22 kW

双方向充電

性能／燃費／排出ガス :

加速 [0 – 100 km/h (62 mph)] : 5.4 秒

最高速度 : 200 km/h (124 mph)

複合電力消費量 (WLTP) : 17.9–14.3 kWh/100 km²

複合 CO₂排出量 (WLTP) : 0 g/km²、CO₂クラス : A²

¹ 10 分間の高出力充電による航続距離の増加量は、ISO 12906 に準拠して WLTP サイクルで測定されたものであり、充電インフラが最大 DC 充電出力を可能とすることを前提としています。実際の航続距離の増加量および充電性能は、車両の装備、バッテリーの充電状態・状態、周囲温度・バッテリー温度、走行プロファイル、補助消費機器、車両固有の充電設定、および充電ステーションで提供される充電出力によって異なります。

² 記載された数値は、規定の WLTP 測定手順に基づいて算出されたものです。実際の値は、積載量、運転スタイル、走行ルート、天候、補助消費機器（空調システムを含む）、タイヤ、バッテリーの状態など、さまざまな要因によって異なります。

新型 BMW 3 シリーズ はじめに



50 年以上にわたり、BMW 3 シリーズは、明確なスポーティなキャラクター、際立ったデザイン、そして絶え間ない技術進歩によって、駆けぬける歓びを体現してきました。その結果、長く続く成功の歴史が築かれ、BMW 3 シリーズの各新世代モデルは、その歴史をさらに発展させる使命を担っています。技術的な飛躍を遂げた新型 BMW 3 シリーズは、この歴史を新たな時代へと引き継いでいきます。

「ノイエ・クラッセ」を基盤とする初の完全電気自動車（EV）である新型 BMW 3 シリーズは、新型 BMW i3 としてデビューを飾ります。このモデルは、BMW 3 シリーズのお馴染みのキャラクターをさらに洗練させるとともに、際立った新たな特性を加えています。ローンチ時から 2 種類の完全電気自動車モデルがラインナップされます。これに加え、高効率なガソリンエンジンと 48V マイルドハイブリッド技術を採用した、新型 BMW 3 シリーズのバリエーションが加わります。ラインナップの中で最もスポーティなモデルである新型 BMW M350i xDrive は、M パフォーマンス・モデルの魅力と、BMW の直列 6 気筒エンジンならではの比類なき個性を融合させています。そして今後 1 年以内に、プラグイン・ハイブリッド（PHEV）モデルが BMW 3 シリーズのラインナップに加わる予定です。

新型 BMW 3 シリーズの駆動システムバリエーションは、BMW グループの「テクノロジー・オープン」なアプローチを効果的に表現しています。

すべての新型 BMW 3 シリーズ・モデルに共通する、モダンで特徴的かつ一貫性のあるエクステリア・デザイン

新型 BMW 3 シリーズは、視覚的に印象的な「ノイエ・クラッセ」のデザイン言語を、スポーティな BMW セダンのダイナミックなキャラクターに合わせて仕上げています。完全電動車の BMW i3 と、内燃機関（ICE）を搭載した姉妹モデルとの違いは、駆動システムの種類を反映した細部に限定されています。

モダンな 2.5 ボックス・デザインを採用した新型 BMW 3 シリーズは、一目で BMW と認識でき、そのシルエットは、BMW ならではのスポーティなプロポーションを際立たせています。長いホイールベース、短いオーバー・ハング、そして目を引くボディラインが、BMW 3 シリーズの独特の外観を形作っています。後方に配置されたガラスハウスと、大きく張り出したホイールアーチが相まって、この車のショルダー部分に極めてスポーティな印象を与えています。ボディサイドは、印象的なキャラクターライン

によって形作られており、新型 BMW 3 シリーズの視覚的な重心を路面に近づけています。新型 BMW 3 シリーズのドアハンドルはフラッシュフィット式で、車のロックが解除されると自動的に立ち上がります。

新型 BMW 3 シリーズ・モデルのフロントエンドには、2 つのデザインアイコンである「BMW キドニーグリル」と「ツインヘッドライト」が、新鮮でありながらも親しみやすい形で取り入れられています。これらが視覚的に魅力的で一体感のある単一のユニットとして融合し、革新的なライト・シグネチャーを生み出しています。一方、レーシングカーのデザインから採用された新しい「M イエロー・ライト」は、新型 BMW M パフォーマンス・モデルの特徴的かつ大胆な印象を演出しています。

新型 BMW 3 シリーズのリアエンドは、水平方向を強調したライト配置により、技術的な進歩と繊細さの両方を醸し出しています。また、強調されたホイールアーチが、このセダンのワイドでスポーティなフォルムをさらに際立たせています。

完全電気自動車の BMW i3 には、19 インチから 21 インチまでのホイールが用意されています。内燃エンジンを搭載した BMW 3 シリーズ・モデルには、18 インチから 20 インチまでの軽合金ホイールが選択可能です。新型 BMW 3 シリーズには、オプションとして「M スポーツ・パッケージ」または「M スポーツ・パッケージ・プロ」も選択が可能です。これらは各モデルのスポーティなキャラクターを際立たせ、特にダイナミックな外観を演出しています。新型 BMW 3 シリーズの豊富なエクステリア・カラー・ラインナップには、専用色である「M ル・カステレ・ブルー メタリック」が含まれています。2027 年を通じて、数多くの BMW Individual カラーが順次追加される予定です。

インテリア：スポーティで快適、そして BMW ならではのドライバー志向が新たな次元へと進化

「ノイエ・クラッセ」のミニマルなデザイン言語は、新型 BMW 3 シリーズのハイクオリティなインテリアにも受け継がれています。ダイナミックで開放感があり、モダンなキャビンには、ディスプレイおよび操作システム「BMW パノラミック iDrive」による、まったく新しい形のドライバー志向が採用されています。これは、「BMW パノラミック・ビジョン」、「BMW 3D ヘッドアップ・ディスプレイ」、「セントラル・ディスプレイ」、そしてマルチファンクション・ステアリング・ホイールの 4 つの要素で構成されています。

新型 BMW 3 シリーズでは、「BMW パノラミック・ビジョン」とオプションの「BMW 3D ヘッドアップ・ディスプレイ」が、運転に関連する情報をドライバーの視線内に投影します。17.9 インチのセントラル・ディスプレイはインストルメント・パネルに配置され、ドライバーに向かって見やす

い角度に設定されている。上部に中央スポークを備えた新デザインの BMW ステアリング・ホイールも、新型 BMW 3 シリーズに採用されています。マルチファンクション・ボタンを備えたこのステアリング・ホイールは、特に直感的に操作できるよう最適化されています。また、新型 BMW 3 シリーズ・モデルには、オプションとして M ステアリング・ホイールや BMW Individual ステアリング・ホイールも選択可能です。

新型 BMW 3 シリーズのドアの両側からインストルメント・パネルへ前方に流れるラインは、ドライバーと同乗者を包み込むようになめらかに広がり、クライメート・コンフォート・ガラスを採用した大型パノラミック・サンルーフが、広々とした窓面と相まって、明るく開放感あふれる空間を演出しています。

新型 BMW 3 シリーズの標準シートは、しっかりと体を支える横方向のホールド性と高い快適性を兼ね備えています。電動調整機能、メモリー機能、そして「トラベル&コンフォート・システム」を搭載している。オプションとして、マルチ・ファンクション・シートや M スポーツシートを選択できます。後部座席用のシートヒーターもオプションとして追加できる。標準装備のハイファイ・サウンドシステムの代わりに、ハーマン・カードン製のハイファイ・サウンドシステムおよびサラウンド・サウンドシステムも用意されており、新型 BMW 3 シリーズに最高級の音質を届けます。

新型 BMW 3 シリーズは、4 種類のインテリア・デザインから選択が可能で、それぞれ色と素材を調和の取れた組み合わせから選択できます。また、「My Mode」機能により、新型 BMW 3 シリーズのオーナーは、車内のディスプレイ、サウンド、照明、そして駆動システムを幅広くカスタマイズできます。

BMW パノラミック iDrive、BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタント、そして将来性を見据えたソフトウェアとエレクトロニクス・アーキテクチャによる、統合的かつデジタルなユーザー体験

完成された人間工学と直感的な操作性は、何十年にもわたり BMW 3 シリーズの際立った特徴として知られてきました。そして、最新世代モデルに搭載されたディスプレイおよびオペレーティング・システム「BMW パノラミック iDrive」（BMW Operating System X 搭載）は、この伝統を受け継いでいます。これは、「適切な情報を、適切な場所で、適切なタイミングで表示する」という原則に基づいています。BMW パノラミック iDrive のマルチモーダル操作ロジックは、タッチ操作、ハプティック操作、音声操作を組み合わせています。ここで重要な役割を果たすのが「BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタント」であり、Amazon Alexa+ AI テクノロジー¹の統合により、その機能範囲がさらに拡大し、より対話型で極めて直感的な音声操作が可能です。

1 遅くとも 2026 年下半年より、BMW オペレーティング・システム 9 および X を搭載するすべての BMW モデルに順次導入されます。提供範囲は、ドイツおよび米国市場を皮切りに、着実に拡大されていきます。

「BMW Operating System X」は、ディスプレイおよびオペレーティング・システムのためのインテリジェントなプラットフォームとして機能します。これは Android Open Source Project (AOSP) をベースとしており、優れたアップデートおよびアップグレード機能を提供するように設計されています。つまり、このシステムにより、新しい機能やデジタルサービスを継続的に追加することが可能となり、長期間にわたり最新の状態を維持できます。さらに、新型 BMW 3 シリーズに搭載された「BMW Operating System X」は、これまで以上に充実したエンターテインメント機能を実現します。また、オプションの「BMW Digital Premium」パッケージに追加された新機能により、新型 BMW 3 シリーズ・モデルは特に使いやすく、魅力的なものとなっています。これらの機能には、「セキュリティ・アシスタント」や「BMW Maps」に含まれる拡張ナビゲーション機能などが含まれます。BMW 3 シリーズは定期的なソフトウェア・アップデートにより、常に最新の状態を保つことができます。

長距離走行と急速充電を実現した完全電気自動車「BMW i3」

高効率な内燃エンジンと 48V マイルドハイブリッド技術を搭載したモデルに加え、BMW 3 シリーズのラインナップには、フル電動モデルも加わりました。「ノイエ・クラッセ」モデルとして登場した新型 BMW i3 には、第 6 世代 (Gen6) の BMW eDrive テクノロジーが採用されています。これには、円筒形セルを採用した根本的に新しい高電圧バッテリー、高効率な電気モーター、800V テクノロジー、および双方向充電機能が含まれます。第 6 世代 (Gen6) BMW eDrive システムは、前世代モデルに比べて航続距離が大幅に延長され、充電速度も著しく向上している。新型 BMW i3 は発売当初、2 つのバージョンが用意され、いずれも前輪軸と後輪軸にそれぞれ 1 基ずつ電気モーターを搭載している。

新型 BMW i3 50 xDrive のシステム出力は 345 kW/469 hp で、最大トルクは 645 Nm (475 lb-ft) を発揮します。0 から 100 km/h (62 mph) までの加速は 4.7 秒です。BMW i3 50 xDrive には 108.7 kWh の高電圧バッテリーが搭載されており、長距離走行能力が際立っています。最大航続距離は 912 km / 567 マイル (WLTP) ¹です。さらに、最大 400 kW の DC 充電対応により、充電時間が劇的に短縮されます。DC 急速充電ステーションでは、BMW i3 50 xDrive は 10 分間 ²の充電で、最大 423 km (263 マイル) の走行に十分な電力を確保できます。

1 記載された数値は、規定の WLTP 測定手順に基づいて算出されたものです。実際の値は、積載量、運転スタイル、走行ルート、天候、補助消費機器 (空調システムを含む)、タイヤ、バッテリーの状態など、さまざまな要因によって異なります。

2 10 分間の高出力充電後に追加される航続距離は、ISO 12906 に準拠した WLTP サイクルに基づいて算出されており、充電インフラが最大 DC 充電出力を可能とすることを前提としています。追加される航続距離および充電性能は、車両の装備、バッテリーの充電状態／コンディション、周囲温度／バッテリー温度、走行プロファイル、補助消費機器、車両固有の充電設定、および充電ステーションで提供される充電出力によって異なります。

新型 BMW i3 40 xDrive のシステム出力は 275 kW/374 hp です。新型 BMW 3 シリーズの 2 番目のフルエレクトリックモデルは、82.8 kWh の高電圧バッテリーを搭載し、最大航続距離は 710 km / 441 マイル (WLTP) ¹ を実現します。

新型 BMW i3 のラインナップには、近い将来、極めてダイナミックなモデルが加わることになります。2027 年には、超ハイパフォーマンスな「BMW i3 M60 xDrive M Performance」モデルの発売が予定されています。

エントリーモデルから BMW M Performance モデルに至るまで、新型 BMW 3 シリーズのラインナップは、駆動システムを問わず、幅広いパフォーマンスのスペクトルを網羅することになります。

BMW M350 xDrive : パワフルな直列 6 気筒エンジンを搭載したスポーティなフラッグシップモデル

新型 BMW M350 xDrive は、BMW 3 シリーズ・レンジにおける内燃エンジン搭載モデルのフラッグシップであり、BMW の直列 6 気筒エンジンを新たなレベルの完成度へと引き上げています。BMW M350 xDrive のボンネットの下には、クランクシャフト駆動のスターター・ジェネレーターを備えた 48V マイルドハイブリッドシステムを採用した 3.0 リッターガソリンエンジンが搭載されており、最高出力 326 kW/443 hp を発揮します。そのパフォーマンスが力強く物語るように、新型 BMW M350 xDrive は BMW M の世界への入り口となるモデルです。0 から 100 km/h (62 mph) まで 4.1 秒で加速し、電子制御による最高速度は 250 km/h (155 mph) に達します。

高効率な内燃エンジンを搭載した新型 BMW 3 シリーズ・モデルの発売に際し、BMW M350 xDrive に加え、直列 4 気筒ガソリンエンジンを搭載した 2 つのバリエーションがラインナップに加わります。新型 BMW 3 シリーズのすべてのガソリンエンジンには、最新世代の BMW TwinPower Turbo テクノロジーが採用されています。

BMW i3 : 「ハート・オブ・ジョイ」は、電気自動車に新たな次元の駆けぬける喜びをもたらす。BMW M350 xDrive には、新たに「ドリフト・モーメント」機能を搭載。

過去 50 年にわたり、BMW 3 シリーズは純粋な駆けぬける喜びの代名詞であり続けてきました。スポーティな走破性能、精密なハンドリング、そして長距離走行における快適性は、その DNA に深く刻み込まれています。新

型の完全電気自動車 BMW i3 は、これらの特性を「ノイエ・クラッセ」の時代へと引き継いでいます。

1 記載された数値は、規定の WLTP 測定手順に基づいて算出されたものです。実際の値は、積載量、運転スタイル、走行ルート、天候、補助消費機器（空調システムを含む）、タイヤ、バッテリーの状態など、さまざまな要因によって異なります。

その過程で、電動モビリティの潜在能力を最大限に引き出しています。その結果、「Freude am Fahren（駆けぬける喜び）」に新たな次元が加わりました。BMW i3 は、鋭敏で軽快、かつ落ち着いたハンドリングでドライバーを魅了します。「ハート・オブ・ジョイ」と呼ばれる高性能コンピューターが、まったく新しいドライビング体験を演出します。このシステムは従来のシステムの 10 倍の速度で動作し、技術的な飛躍を象徴しています。伝統ある BMW 3 シリーズのスタイルを踏襲しつつ、BMW i3 はダイナミクスにおける新たな基準を打ち立てています。

「ハート・オブ・ジョイ」は、「ノイエ・クラッセ」に採用された第 6 世代の完全電気駆動システムアーキテクチャのために特別に開発されました。その「ドライビング・スタック」は、駆動システムとドライビング・ダイナミクスのすべての機能を、初めて単一の制御ユニットに統合しています。同シリーズのフル電動モデルと同様に、内燃エンジンを搭載した BMW 3 シリーズも、インテリジェントな「BMW ドライビング・スタック」を搭載しています。このシステムは、数十年にわたって最適化され、搭載される駆動システムに合わせてさらに精密に磨き上げられています。どちらの「ドライビング・スタック」も、それぞれの用途に合わせてカスタマイズされたハイエンドなソリューションです。新型 BMW 3 シリーズ全モデルは、採用されている駆動システムの種類に応じて異なる、紛れもないドライビング体験を提供します。

内燃エンジン搭載の BMW 3 シリーズのスポーツ性能を高め、快適性を最大限に引き出したいお客様は、オプションのアダプティブ・サスペンションまたはアダプティブ M サスペンションをお選びいただけます。アダプティブ M サスペンションは、BMW M350 xDrive に標準装備されており、四輪駆動の BMW i3 ではオプションとして用意されています。

新型 BMW M350 xDrive は、新型 BMW 3 シリーズ内燃機関（ICE）ラインナップのダイナミックな頂点を極めるモデルです。俊敏性と正確性を兼ね備え、日常の使用から長距離走行に至るまで、高いレベルの快適性を提供します。さらに、新機能「ドリフト・モーメント」により、まったく新しいドライビング体験をもたらします。コーナーでの横滑りから最大限の楽しさを引き出すように設計され、セントラル・ディスプレイから作動させる「ドリフト・モーメント」は、エンジン出力を後輪のみに伝達することを可能にします。これにより、これまで BMW M GmbH の高性能モデル

にのみ限定されていた、奔放で感情を揺さぶるスリリングなドライビング体験を実現します。

先進の運転支援システムは、走行中でも駐車時も、安全性と快適性を最大限に

新型 BMW 3 シリーズの全モデルには、標準装備およびオプションの幅広いアシスタンスシステムが用意されています。新型 BMW 3 シリーズにおける最先端技術の採用と人工知能 (AI) の活用拡大により、安全性がさらに向上し、半自動運転や駐車時のドライバーの負担が実質的に軽減されます。革新的な SAE レベル 2 の運転支援システムとアクティブ・セーフティ機能は、前世代モデルに比べて明らかな向上を実現しています。「BMW Symbiotic Drive」は、人間の行動と運転支援の間の直感的な相互作用を保証します。「Motorway Assistant」は、21 カ国 1 において時速 130 km (81 mph) までのハンズフリー走行を可能にします。また、2027 年からは、新たな支援機能により、都市部でのナビゲーション誘導による部分自動運転が提供される予定です。

新型 BMW i3 は、BMW グループ・ミュンヘン工場、内燃エンジンを搭載した BMW 3 シリーズの生産は、バイエルン州ディンゴルフィングで生産
新型の完全電気自動車「BMW i3」は、BMW グループの本拠地であるミュンヘン工場生産されます。BMW は、この伝統ある地で 100 年以上にわたり車両を生産してきました。1975 年には、史上初の BMW 3 シリーズがここで生産ラインから出荷されました。そして 2026 年、同工場は初の完全電気自動車となる BMW 3 シリーズとともに、新たな時代を迎えようとしています。来年、ミュンヘン工場は完全電動の「ノイエ・クラッセ」モデルの生産に完全に切り替わります。高効率な内燃エンジンを搭載した新型 BMW 3 シリーズは、BMW グループの欧州最大の製造拠点である BMW グループ・ディンゴルフィング工場生産されます。一方、新型 BMW 3 シリーズに搭載される完全電動ドライブシステムおよび内燃エンジンの主要部品の生産は、オーストリアの BMW グループ・シュタイアー工場が担当します。高電圧バッテリーは、バイエルン州にある BMW グループの新工場、イルバッハ＝シュトラスキルヒェン工場から供給されます。

新型 BMW 3 シリーズは、サプライチェーン、生産、使用段階にわたる BMW グループの包括的なサステナビリティへの取り組みに沿ったものです。

1 2026 年末までに、ドイツ、英国、アイルランド、ベルギー、オランダ、ルクセンブルク、フランス、スペイン、ポルトガル、イタリア、スイス、リヒテンシュタイン、オーストリア、チェコ、ポーランド、デンマーク、スウェーデン、ノルウェー、米国、カナダ、および日本で導入予定。

エクステリア

モダン、ダイナミック、紛れもない存在感。 すべての駆動方式で一貫したデザイン。



ハイライト：

- 一目でわかるシルエット：目を引く表面処理を施した 2.5 ボックス・デザイン、長いホイールベース、短いオーバーハング。
- 新型 BMW 3 シリーズのフロントエンドは、幾何学と光の融合そのものです。
「M イエロー・ライト」を装備した BMW 3 シリーズ M パフォーマンス・モデルは、圧倒的な存在感を放ちます 1。
- 個性的な演出：BMW アイコニック・グロー・エクステリア・パッケージが、カスタマイズ可能なライティング効果を提供します。
- ダイナミックなシルエット：水平方向のライト・シグネチャーを備えた力強いリアエンド。
- 期待に応える：新型 BMW 3 シリーズの全駆動方式モデルに、魅力的な軽合金ホイールの幅広いラインナップが用意されています。
- 印象的でエクスクルーシブ：新しい「M ル・カステレ・ブルー メタリック」カラー。
- M スポーツ・パッケージ：自信に満ちた、非常に個性的で際立った外観を生み出すようにデザインされています。
- スポーティな魅力を徹底追求：M スポーツ・パッケージ・プロ。
- 今後登場予定：BMW i3 M60 xDrive。

新型 BMW 3 シリーズの諸元：

	BEV	ICE*	旧モデル (G20)
全長	4,760 mm	4,765 mm	4,713 mm
全幅	1,865 mm	1,850 mm	1,827 mm
全高	1,480 mm	1,455 mm	1,448 mm
ホイールベース	2,897 mm	2,860 mm	2,851 mm
前輪トレッド幅	1,606 mm	1,597 mm (1,595 mm)	1,571 mm
後輪トレッド幅	1,614 mm	1,617 mm (1,599 mm)	1,589 mm

* 括弧内の数値は BMW M350 xDrive のものです。

1 ECE：夜間、ロービーム点灯時のみ；米国：日中、ロービーム未点灯時のみ。

新型 BMW 3 シリーズは、すべての駆動方式において、「ノイエ・クラッセ」の明確かつ表現力豊かなデザインを体現しています。これは、一目で BMW とわかる BMW 3 シリーズのダイナミックなキャラクターに合わせて設計されています。シャープなラインと目を引く表面が、無駄を省いたエクステリアの印象を際立たせ、先進的なモダンさが、コンパクトセグメントにおけるスポーティな BMW セダンの紛れもないプロポーションと調和しています。

新型 BMW 3 シリーズの外寸は、先代モデルよりもわずかに大きくなっています。すべての駆動方式において、機敏でダイナミックな走りを誇るコンパクトな BMW スポーツセダンの伝統を忠実に受け継いでいます。これは、フロントおよびリアのトレッド幅が大幅に拡大されたことにも表れており、新型 BMW 3 シリーズのワイドなスタンスをさらに際立たせています。この第 8 世代モデルは、これまで以上に「セダンらしさ」を顧客に提供します。

BMW i3 およびその姉妹車である BMW 3 シリーズのコンセプトに基づき、外形寸法、ホイールベース、オーバーハング、トレッド幅にわずかな変更が加えられています。

一目でわかるシルエット：目を引く表面形状、長いホイールベース、短いオーバーハングを備えた 2.5 ボックス・デザイン

BMW 3 シリーズは数十年にわたる成功の歴史を持ち、その DNA は新型車のモダンな 2.5 ボックス・デザインに一目で見てわかります。新型 BMW 3 シリーズのシルエットは、BMW が誇るスポーティなプロポーションを体現しています。そして、長いホイールベース、短いオーバーハング、印象的な表面形状こそが、この 4 ドアセダンの外観を形作る鍵となっています。新型 BMW 3 シリーズのフォルムは空力的に最適化されており、エレガントでモダン、かつダイナミックな魅力を放っています。

力強いホイールアーチと短いオーバーハングが、スポーティなスタンスを強調しています。後方にセットバックされたガラスハウスは、新型 BMW 3 シリーズの個性を決定づけるもう一つの特徴です。これは、際立って張り出したホイールアーチと相まって、車のショルダー部分に並外れたアスリートのような力強さを与えています。サイドに沿って走る低いキャラクターラインも同様のスタイリッシュなインパクトを持ち、新型 BMW 3 シリーズの視覚的な重心を路面により近づけています。

新型 BMW i3 では、隠されたシールがガラス面とボディの間の調和のとれた移行を実現しています。また、これらは車のサイドビューに、現代的な洗練さと精密さを際立たせています。内燃機関（ICE）を搭載した新型 BMW 3 シリーズでは、垂直のシールがウィンドウリセスのフィニッシャーストリップの背後に隠されています。

新型 BMW 3 シリーズのドアハンドルはフラッシュフィット式で、車のロックが解除されると自動的に立ち上がります。

新型 BMW 3 シリーズのフロントエンドは、幾何学と光の融合そのものです。M イエロー・ライト¹を装備した BMW 3 シリーズ M パフォーマンス・モデルは、圧倒的な存在感を放つ

新型 BMW 3 シリーズの全モデルのフロントエンドには、「ノイエ・クラッセ」のフロントデザインを独自かつモダンに解釈した要素が取り入れられています。BMW デザインの象徴であるキドニーグリルとツインヘッドライトは、フロントに配置されたセンサーと融合し、幾何学と光の調和の中で一つの視覚的ユニットを形成しています。これらは、細部に至るまで精緻な精度をもって、車の幅広さを強調しています。

水平方向に伸びるライト・シグネチャーは、フロントエンドのほぼ全幅にわたって広がっています。左右に配置された縦型のデイトタイム・ランニング・ライト（ターンシグナルリピーター機能内蔵）は、お馴染みの BMW の「4 つの目」のフロントデザインに、新しくモダンな印象をもたらしています。

新しい「M イエロー・ライト」¹は、BMW M350 xDrive のような M パフォーマンス・モデルに、常にスポーティな存在感を演出します。フロントエンドを彩るこれらのライト・アイコンは、GT レーサーや BMW M ハイブリッド V8 からインスピレーションを得た、モータースポーツにルーツを持つものです。「M イエロー・ライト」¹は、新型 M パフォーマンス・モデルの標準装備となっています。

BMW 3 シリーズ全モデルのフロントエンドは、BMW 特有の「シャークノーズ」デザインを採用し、道路に向かってダイナミックに突き出ていることで、スポーティで機敏なキャラクターを強調しています。BMW エンブレムは、BMW キドニーの上にある「谷」の位置に配置されています。

「アイコニック・グロー」オプションを装備した車両では、精密な輪郭照明が、BMW キドニーグリルが生み出す魅力的な視覚的奥行き感をさらに引き立てます。「アイコニック・グロー」は、3 つの印象的なダイナミックなライトアニメーションも提供します。BMW 3 シリーズ・レンジの M パフォーマンス・モデルには、BMW アイコニック・グロー・エクステリア・パッケージが標準装備されています。

パーソナルなタッチ：BMW アイコニック・グロー・エクステリア・パッケージは、カスタマイズできるライティング

ドライバーが近づくと、新型 BMW 3 シリーズは光の演出によって息吹を吹き込まれます。「ウェルカム・ライト・アニメーション」は車外から始

まり、車内へと続きます。ウェルカムおよびグッバイのアニメーションは、車両の仕様に応じて異なります。

1 ECE：夜間、ロービームヘッドライト点灯時のみ；米国：日中、ロービームヘッドライト非点灯時のみ。

「BMW アイコニック・グロー」エクステリア・パッケージは、「バランスト」、「リラックス」、「エキサイテッド」という 3 つの魅力的な照明効果を提供します。これにより、BMW 3 シリーズのオーナーは、ウェルカム・ライト・アニメーションを個人の好みに合わせて調整することができます。

ダイナミックなシルエット：水平なライト・シグネチャーを備えた力強いリアエンド

新型 BMW 3 シリーズのモダンでダイナミックなデザイン言語は、リアエンドにも反映されています。ここでの際立った特徴は、深く切り込まれたガラスハウスと、アスリートのように彫刻されたショルダーラインです。際立ったホイールアーチはセダンの幅広さを強調し、力強いロードスタンスは、すべてのドライブバリエーションにおいて新型 BMW 3 シリーズが放つスポーティなキャラクターを際立たせています。

リアライトは、際立って水平に配置され、新しい立体的なライト・シグネチャーを備え、車の強調されたショルダー部分まで深く伸びています。それらは、精密さと技術の進歩を醸し出しています。両側の 2 つのライト要素は、従来の BMW で馴染みの L 字型リアライトを抽象的に表現したものであり、BMW 3 シリーズの際立った個性を強調しています。BMW のエンブレムは、2 つのリアライトの間の「谷」に配置されています。BMW M350 xDrive M Performance モデルのリアには、リアスポイラーが標準装備されています。特徴的な 4 本出しのマフラーと相まって、レーシングカーのデザインを彷彿とさせます。

ニーズに応える：新型 BMW 3 シリーズの全駆動方式モデル向けに、魅力的な軽合金ホイールの幅広いラインナップを用意

完全電気自動車の BMW i3 には、19 インチの軽合金ホイールが標準装備されています。しかし、新型 BMW 3 シリーズのこの駆動方式モデルでは、19-21 インチのサイズから、計 9 種類の軽合金ホイールまたはエアロダイナミックホイールの中から選択可能です。

BMW 3 シリーズのガソリンエンジン搭載モデル向けの軽合金ホイールラインナップは、18-20 インチのモデルで構成されている。18 インチのホイールが標準装備となっているが、BMW M350 xDrive は例外だ。このラインナップの中で最もパワフルなモデルの標準仕様は、バイカラー・ジェットブラックの「1139」19 インチ M 軽合金ホイールである。

印象的で独創的：新色「M Le Castellet Blue」メタリック

新型 BMW 3 シリーズには、発売当初から最大 11 種類のエクステリア・カラーが用意されます。特に魅力的な新メタリックカラー「M Le Castellet Blue」は、すべての駆動方式のモデルで選択可能な限定カラーです。さらに、その他のソリッドカラー、フローズンカラー、メタリックカラーも幅広くラインナップされています。2027 年中には、BMW Individual の多彩なペイントフィニッシュが追加され、カラーバリエーションはさらに拡充される予定です。

発売時点で BMW 3 シリーズに用意されるエクステリア・カラーの概要：

アルパイン・ホワイト	ソリッド
サファイア・ブラック	メタリック
スペース・シルバー	メタリック
M ブルックリン・グレー	メタリック
ユーカリグリーン	メタリック
M ル・カステレ・ブルー	メタリック
ミネラルホワイト	メタリック
ファイヤーレッド	メタリック
ポラライズド・グレー	メタリック
オーシャンウェーブブルー	メタリック
BMW Individual フローズン・スペース・シルバー*	フローズン

* 内燃エンジンを搭載した BMW 3 シリーズ・モデル：3 月 27 日より提供開始。

M スポーツ・パッケージ：自信に満ちた、極めて個性的な外観を演出するためのデザイン

M スポーツ・パッケージは、新型 BMW 3 シリーズにオプションとして設定可能です。このパッケージには、内燃機関搭載の BMW 3 シリーズ向けにボディ同色サイドスカートを含む、M 独自のデザイン要素が盛り込まれています。BMW M パフォーマンス・モデルには、この装備が標準で採用されています。

M スポーツ・パッケージには、専用バンパー、スカート、M 専用ディフューザーを備えた M エアロダイナミクスパッケージなどが含まれます。さらに、ブルーの M スポーツ・ブレーキも装備されます。

スポーティな魅力を極限まで追求：M スポーツ・パッケージ・プロ

オプションの「M スポーツ・パッケージ・プロ」は、新型 BMW 3 シリーズのスポーティなキャラクターを最大限に引き出します。すべての駆動方式のモデルに、さらに印象的な外観を与える専用装備を追加します。その中には、ブラックのドアミラーキャップ、ブラックのリアスポイラー、そしてレッドの M スポーツ・ブレーキが含まれます。

今後登場予定：BMW i3 M60 xDrive

BMW 3 シリーズのすべての BMW M パフォーマンス・バリエーションと同様に、2027 年にデビュー予定の BMW i3 M60 xDrive のフロントエンドには、独自のエアライト・グラフィックが採用されています。これに加え、特徴的な新しい M イエロー・ライトがアクセントを添えています。ややスリムで直線的なリアライト・グラフィックも、このモデルの際立った特徴の一つです。21 インチのエアロダイナミック・ホイール（スタイル 1067M）が、このモデル専用として用意されます。



インテリア

魅力的でモダン、そしてスポーティな雰囲気。ドライビングへの明確なこだわり。

ハイライト：

- 包み込むような効果を備えたモダンなキャビン環境：居心地が良く、ドライバー志向で、デジタル化が進んでいます。
- BMW は、卓越したディスプレイとオペレーティングシステムにより、伝統的なドライバー志向のアプローチを新たな次元へと引き上げます。
- 多彩なステアリングホイールオプション：M ステアリング・ホイール、スポーツ・ステアリング・ホイール、BMW Individual ステアリング・ホイール。
- 快適でありながらスポーティ：標準装備のシートとマルチ・ファンクション・シート。
- さらに強化された横方向のホールド性：M スポーツシート。
- 直感的な操作。オプションの 3 ゾーン・オートマチック・クライメート・コントロール。
- 実用性を兼ね備えた魅力：分割・折りたたみ可能なリアシートバックレスト。
- 際立つオーディオの魅力：ハーマン・カードン製のオプション・サウンドシステム。
- 多彩なインテリア・デザインにより、お客様はご自身の好みを表現することができます。

「ノイエ・クラッセ」のデザイン言語は、高品質な新型 BMW 3 シリーズのインテリアの隅々まで浸透しています。キャビンはモダンでスポーティ、かつ居心地の良い印象を与え、デザインを最小限に抑えることで、本質に焦点を当てています。ディスプレイおよびオペレーティング・システム「BMW パノラミック iDrive with BMW Operating System X」は、BMW が従来から重視してきたドライバー志向とユーザー体験を根本から再考したものです。新型 BMW 3 シリーズのさまざまな駆動方式によるコンセプト上の違いにより、それぞれのインテリアにはわずかなバリエーションが生じています。

包み込むような効果をもたらすモダンなキャビン環境：居心地が良く、ドライバー志向で、デジタル化が進んでいます。

新型 BMW 3 シリーズのインテリアは、お客様がクルマに乗り込むたびに、「ノイエ・クラッセ」のデザイン言語を特に鮮やかに表現しています。未来志向でダイナミック、かつ開放感あふれるインテリア・デザイン

は、ドライバー志向のまったく新しい体験と、ユーザーとのインタラクションに対する新たなアプローチをもたらします。また、インテリアは、幾何学、光、そして音の調和のとれた相互作用を際立たせています。アンビエント照明と、セントラル・ディスプレイおよび「BMW パノラミック・ビジョン」上のグラフィックの調和のとれたデザインは、デジタルと現実世界のコンテンツを融合させています。

フリーカットデザインのセントラル・ディスプレイは、ドライバーに向かって明確に傾斜しています。これは、BMW 特有のドライバー志向を一貫して体現したデザインの一部です。インストルメント・パネルも、新型 BMW 3 シリーズのスポーティな哲学を反映しています。両側のドアからインストルメント・パネルへと流れるように伸びる前傾したラインが、ドライバーと乗客を包み込むようなラップアラウンド効果を生み出しています。

新型 BMW 3 シリーズでは、さまざまな「My Mode」を通じて、照明、サウンド、ディスプレイ、ドライブシステムを個人の好みに合わせて幅広くカスタマイズすることができます。

気候快適ガラスを採用した大型パノラマ・ガラス・サンルーフにより、新型 BMW 3 シリーズの車内には光に満ちた開放感が生まれます。

BMW は、優れたディスプレイと操作システムにより、ドライバー主体のアプローチを新たなステージへ発展させた

新型 BMW 3 シリーズの「BMW パノラミック iDrive」は、BMW が定評を持つ「ドライバー志向」の概念に、まったく新しい体験をもたらします。ここでは、4 つの中心的な要素が融合して独自のディスプレイおよび操作システムを形成しています。「BMW パノラミック・ビジョン」、「BMW 3D ヘッドアップ・ディスプレイ」、新設計のマルチファンクション・ステアリング・ホイール、そしてセントラル・ディスプレイが、ドライバーに常に適切な情報を、適切な場所で、適切なタイミングで提供します。

「BMW パノラミック・ビジョン」は、運転に関連する情報を、オプションの「BMW 3D ヘッドアップ・ディスプレイ」と共に、ドライバーの視線上に直接投影します。これにより、完全に新しいデザインを採用したステアリング・ホイールの背後に、他のコックピットディスプレイを設置する必要がなくなりました。

BMW 3 シリーズとして初めて、新型ステアリング・ホイールは上部に中央スポークを備え、親指を置くためのくぼみも際立っています。マルチファンクション・ボタンを備えたこのステアリング・ホイールは、BMW が掲げる「ハンドルに手を置き、視線を道路に」という原則に沿って、極めて直感的に操作できます。

新型 BMW 3 シリーズのステアリング・ホイールのすぐ隣には、フリーカット・デザインの 17.9 インチ・セントラル・ディスプレイが配置されています。BMW ブランドが掲げる「ドライバー重視」の理念に基づき、このディスプレイはドライバーの方を向くように角度が付けられています。

ステアリング・ホイールには、M ステアリング・ホイール、スポーツ・ステアリング・ホイール、BMW Individual ステアリング・ホイールなど、複数のオプションを用意

BMW 3 シリーズのすべての M パフォーマンス・バリエーションと同様に、BMW M350 xDrive には、フラットでダイナミックなデザインと、4 時および 8 時位置にスポークを配置した M ステアリング・ホイールが標準装備されています。M ステアリング・ホイールは、オプションの「M スポーツ・パッケージ・プロ」の一部として、あるいは他の BMW 3 シリーズ・モデル向けの単独オプションとしても選択可能です。

中央スポークを備えたホワイトの BMW Individual ステアリング・ホイールは、「コンテンポラリー」インテリアデザイン（デジタル・ホワイト）と組み合わせた場合にのみ、オプションとして選択可能です。内燃エンジン搭載の BMW 3 シリーズで利用可能なすべてのステアリング・ホイールには、シフトパドルが標準装備されています。

快適でありながらスポーティ：標準装備のシートとマルチ・ファンクション・シート

新型 BMW 3 シリーズ・モデルの標準シートは、高い快適性と確実な横方向のホールド性を兼ね備えています。メモリー機能付き電動調整が標準装備されており、さらに 2 列目乗客向けに背もたれに組み込まれた「トラベル&コンフォート・システム」も備わっています。シート調整用のコントロールパネルは、各ドアパネルに配置されています。

マルチ・ファンクション・シートは、すべての新型 BMW 3 シリーズ・モデルでオプションとして選択が可能で、ランバーサポートと背もたれの幅調整機能が含まれています。完全電気自動車の BMW i3 に搭載されるマルチ・ファンクション・シートにはマッサージ機能も備わっており、内燃機関（ICE）モデルにはシートベンチレーション機能が装備されています。

さらに優れた横方向のホールド性：M スポーツシート

高性能モデルである BMW M350 xDrive には、M スポーツシートが標準装備されています。スポーティで表現力豊かなデザインと、特に確かな横方向のホールド感を実現する際立ったサイドサポートが特徴です。各シート背もたれの上部には、フロントガラスやサイドウィンドウ越しに車外からも見えるイルミネーション付きの M ロゴが配されています。これにより、一目でインテリアの際立ったスポーティな雰囲気が際立ちます。

M スポーツシートは、すべての新型 BMW 3 シリーズ・モデルにおいて、M スポーツ・パッケージのオプションとして選択可能です。また、M スポーツ・パッケージ Pro には標準装備されています。

直感的な操作：オプションの 3 ゾーン自動空調システム

新型 BMW 3 シリーズは、フロントおよびリアに電動ドアオープナーを装備しています。運転席と助手席の間にあるセンターコンソールには、ワイヤレス充電機能と物理ボタンを備えた収納トレイが配置されています。ドライバーはこのボタンを使用して、パーキングブレーキ、リアウィンドウヒーター、ハザードランプなどの機能を操作できます。また、ここにはトランスミッションセレクターレバーとともに、音量調節ボタンも配置されています。

新型 BMW 3 シリーズの全モデルには、電動調整式エアベントを備えた 2 ゾーンオートエアコンが標準装備されています。オプションの「High」装備仕様には、3 ゾーンオートエアコンが含まれています。新型 BMW 3 シリーズのリアシートには、オプションでヒーター機能を装備することが可能です。

実用的な魅力：分割・折りたたみ式のリアシート背もたれ

新型 BMW 3 シリーズのガソリンエンジン搭載モデルは、トランク容量が 450 リットルです。完全電気自動車の BMW i3 は、後部荷室に 420 リットル、ボンネット下に 31 リットルの収納スペースを備えています。すべての駆動方式のモデルにおいて、後部座席の背もたれは 40:20:40 の分割・折りたたみが可能です。

オーディオの特長：ハーマン・カードン製のオプション・サウンドシステム

すべての新型 BMW 3 シリーズ・モデル（標準でハーマン・カードンのハイファイ・システムを搭載する BMW M350 xDrive を除く）の標準装備には、7 つのスピーカーと 205 ワットの出力を備えたハイファイ・システムが含まれます。

また、このラインナップには、より高い出力とスピーカー数を備えた、ハーマン・カードン製の特別仕様のシステムも含まれています。ハーマン・カードンのシステムには、特に豊かで多彩なオーディオ体験を可能にするドルビーアトモスの利点が備わっています。ドルビーアトモスは、対応するオーディオフォーマットにおいて立体的なサウンドスケープを創出し、車室内でサウンドオブジェクトを自由に移動させることができます。その結果、空間内で音の位置を明確に特定でき、さらにはリスナーの周囲をリアルに動き回るような没入感のあるオーディオ体験が実現され、映像、音楽、ゲームに格段の迫力と細部の豊かさが加わります。また、アトモスフォーマットにより、すべてのハーマン・カードン製ハイファイ・システムがプレミアムなオーディオ体験を提供することが保証されています。

多彩なインテリア・デザインにより、お客様の好みを表現することが可能に

新型 BMW 3 シリーズには、素材と配色が調和した 4 種類のインテリア・デザインが用意されており、車両全体のキャラクターを反映しています。選択肢には、標準仕様の「エッセンシャル」に加え、「コンテンポラリー」、「BMW M」、「BMW インディビジュアル」のオプションが含まれます。

すべての新型 BMW 3 シリーズ・モデルにおいて、「エッセンシャル」インテリア・デザインには、ヴィヴィッド・グレーの「エコニア」表面素材が採用されています。「コンテンポラリー」デザインバリエーションには、デジタル・ホワイト、カスタネア、アガベ・グリーン、またはブラックの「ヴェガンザ」シートカバーが含まれます。この高品質でレザーのような素材は、BMW M インテリアデザインオプションのシートにも（ブラック、または M パフォーマンスステックスとの組み合わせで）使用されており、ここでは BMW M スポーツシートも選択可能です。一方、BMW Individual のデザインワールドでは、贅沢な座り心地を実現するブラック色のエクスクルーシブ・メリノレザーを提供しています。BMW Individual 仕様においても、オプションとして BMW M スポーツシートを注文可能です。内燃機関搭載の BMW 3 シリーズ・モデルではブラック、完全電気自動車の BMW i3 ではアデレード・グレーが用意されています。

新型 BMW 3 シリーズのインテリアデザインバリエーションの概要：

インテリア・デザイン	素材	カラー
エッセンシャル	エコニア	ヴィヴィッド・グレー
コンテンポラリー	ベガンザ	デジタル・ホワイト、カスタネア、アガベ・グリーン、ブラック
BMW M	ヴェガンザ／ M パフォーマンスステックス	ブラック
BMW インディビジュアル	メリノレザー	ブラック、アデレード・グレー



ディスプレイとオペレーティング・システム、デジタルユーザー体験

BMW ならではの「ドライバー重視」の姿勢を新たな形で再構築

ハイライト：

- BMW オペレーティング・システム X を搭載した BMW パノラミック iDrive：BMW ならではの、ドライバーを最優先にした設計。
- BMW パノラミック・ビジョン：ドライバーの視線を常に道路に集中させます。
- オプションの BMW 3D ヘッドアップ・ディスプレイ：空間的な表示と、視線の先に直接投影される映像。
- 理想的な位置に配置され、手の届く範囲に：フリーカット・デザインの 17.9 インチ・セントラル・ディスプレイ。
- 新しいマルチファンクション・ステアリングホイールと「シャイ・テック」コントロールによる直感的な操作。
- BMW オペレーティング・システム X：カスタマイズ可能で、状況に応じて適応し、常に最新の状態を保ちます。
- 自己学習機能を備えた「BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタント」によるインテリジェントな音声コントロールは、Amazon の Alexa+ AI テクノロジー¹ によって強化され、自然なコミュニケーションを実現します。
- 豊富なアプリ、動画、ゲームのラインナップが車内エンターテインメントを新たなレベルに引き上げます。Amazon Prime Video も新たに追加されました。
- BMW Digital Premium：エンターテインメント、セキュリティ機能、拡張ナビゲーション機能を網羅した、柔軟で充実したパッケージ。
- BMW Maps 搭載のナビゲーション：洗練され、正確で、先読み機能に優れ、新たなドライバーアシスト視覚化機能²を備えています。

何十年にもわたり、BMW モデルは直感的な操作性と完璧な人間工学の面で先駆的な役割を果たしてきました。この伝統は、新型 BMW 3 シリーズ・レンジに搭載された最新の BMW パノラミック iDrive ディスプレイと、BMW Operating System X を搭載したオペレーティング・システムによって引き継がれています。システム全体は、「適切な情報を、適切な場所に、適切なタイミングで表示する」という原則に基づいています。操作は、人間工学的に最適化されたアナログおよびデジタルコントロールを使用して行われます。BMW グループは、BMW 3 シリーズに搭載されたディスプレイおよびオペレーティング・システムの多くの革新技术を保護するため、特許出願を行っています。

1 遅くとも 2026 年下半年より、BMW オペレーティング・システム 9 および X を搭載するすべての BMW モデルに順次導入されます。提供範囲は、ドイツおよび米国市場を皮切りに、着実に拡大されていきます。

2 運転支援機能を備えた「BMW Maps」は、特定の国や都市、および特定の道路において、「Motorway Assistant」または「Motorway & City Assistant」と組み合わせてのみ利用可能です。利用可能範囲は段階的に拡大されています。

新型 BMW 3 シリーズでは、BMW パノラミック・ビジョンにより、関連するすべてのコンテンツがフロントガラスの下部全幅に投影されます。これに加え、タッチ操作対応のフリーカット・デザインの 17.9 インチ・セントラル・ディスプレイ、オプションの BMW 3D ヘッドアップ・ディスプレイ、およびシャイ・テック・コントロールを備えたマルチファンクション・ステアリング・ホイールが装備されています。Apple CarPlay および Android Auto™とのワイヤレススマートフォン連携が標準装備されています。これにより、BMW ならではのデジタルでモダンなユーザー体験が実現されます。

音声アシスタント「BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタント」は、新型 BMW 3 シリーズにおいて利便性、パーソナライゼーション、音声制御を向上させる数多くの機能に加え、先を見越した提案も提供します。生成 AI の一種である大規模言語モデル（LLM、Alexa+）¹の導入により、音声対話が洗練され、直感的でインテリジェントなやり取りが可能になるほか、外部の知識ベースへのアクセスも実現しています。

BMW オペレーティング・システム X を搭載した BMW パノラミック iDrive : BMW ならではの、ドライバーを最優先にした設計

BMW パノラミック iDrive は、ドライバーと車両との相互作用を中核に据え、車両の操作、情報の表示、そしてドライバーへの情報提供のあり方を再定義します。ディスプレイ、操作系、ソフトウェアをインテリジェントに連携させることで、直感的で便利、かつ人間工学に基づいた完全に統合されたシステムを構築し、ドライバーに常に適切な情報を提供します。

BMW パノラミック・ビジョン：ドライバーの視線を常に道路に集中させる
このシステムの核となるのが「BMW パノラミック・ビジョン」です。新開発の技術を採用し、フロントガラスの下部全幅にコンテンツを投影します。このコンテンツは、偏光サングラスを着用している場合でも常に視認可能であり、ディスプレイおよび操作システム全体の視覚的な基盤を形成しています。運転に関連する情報は、ドライバーの視野内（左ハンドル車の場合）の左側に、前方の視界を妨げることなく、明確に構造化された形で表示されます。ディスプレイの助手席側および中央領域のコンテンツはパーソナライズが可能で、すべての乗員が確認できます。

¹ 遅くとも 2026 年下半年より、BMW Operating System 9 および X を搭載するすべての BMW モデルに順次導入されます。ドイツおよび米国市場を皮切りに、対応範囲は着実に拡大されていきます。

空間表現機能を備え、視線上に直接投影するオプションの「BMW 3D ヘッドアップ・ディスプレイ」

BMW パノラミック・ビジョンの上部に統合されたオプションの「BMW 3D ヘッドアップ・ディスプレイ」は、選択されたコンテンツをドライバーの視線上に直接、かつドライバー専用投影します。このディスプレイにより、例えばナビゲーションの指示やドライバー・アシスタンス・システムからの情報など、極めて正確な空間認識が可能になります。BMW 3D ヘッドアップ・ディスプレイと BMW パノラミック・ビジョンに表示されるコンテンツは完璧に連携しており、両者が互いに補完し合うことで、一貫性があり、明確に構成された表示体験を生み出します。

理想的な位置に配置され、手の届く範囲にある：フリーカット・デザインの 17.9 インチ・セントラル・ディスプレイ

フリーカット・デザインの 17.9 インチ・セントラル・ディスプレイは、もうひとつの重要な操作要素として BMW パノラミック iDrive に統合されています。洗練されたマトリックス・バックライト技術を採用し、あらゆる照明条件下で極めて鮮明なグラフィックと優れた視認性を実現しています。独自のフリーカット・デザインにより、人間工学的に最適な配置が可能で、ディスプレイは伝統的な BMW スタイルに従ってドライバーに向かって傾斜しています。QuickSelect を搭載した改良されたメニュー構造のおかげで、このディスプレイは便利でシンプル、かつ直感的なタッチ操作を可能にします。

セントラル・ディスプレイ上のメニューには、ドラッグ&ドロップで「BMW パノラミック・ビジョン」へ転送できるウィジェットが含まれています。この方法で、最大 6 つのウィジェットを自由に配置することができます。お馴染みのウィジェット形式に加え、今回初めて大型のウィジェットも利用可能になりました。これらは、中央エリアまたは BMW パノラミック・ビジョンの他のエリアのいずれかに配置できます。これにより、選択したコンテンツをさらに目立つように、かつ明確に表示することが可能になります¹。さまざまな表示モードは、セントラル・ディスプレイまたはマルチファンクション・ステアリングホイールを介して直感的に選択できます。

「シャイ・テック」コントロールを備えた新しいマルチファンクション・ステアリングホイールによる直感的な操作

このマルチファンクション・ステアリング・ホイールは「シャイ・テック」の原理を採用しており、左側の運転支援および駐車機能用のコントロールは、利用可能な場合にのみ点灯します。一方、インフォテインメントのコントロールは触覚フィードバックを提供します。運転支援、駐車、インフォテインメントの各機能が明確に区分されているため、ドライバーが道路から目を離すことなく、安全かつ直感的な操作が可能です。

1 2026 年 11 月の生産開始以降のすべての BMW 3 シリーズ・モデルに搭載。それ以前に製造された BMW i3 モデルについては、ソフトウェアアップデートにより対応。

BMW Operating System X : カスタマイズ可能、状況に応じた対応、そして常に最新の状態

BMW Operating System X は、ディスプレイおよびオペレーティング・システムのためのインテリジェントなプラットフォームとして機能し、ソフトウェア定義車両 (SDV) のアプローチに完全に適合するように設計されています。そのアーキテクチャは Android Open Source Project (AOSP) に基づいており、優れたアップデートおよびアップグレード機能を提供します。これにより、システムは長期間にわたり最新の状態を維持し、新機能やデジタルサービスの継続的な追加が可能になります。BMW Operating System X はすべてのインタラクション要素を管理し、その場の状況に適した文脈に応じた方法で、一貫して情報を表示します。

このシステムの主な特徴の一つは、その幅広いカスタマイズ性です。コンテンツ、ウィジェット、表示は個別に設定可能で、個人の好みに合わせて調整できます。ユーザーは色、表示スタイル、背景画像を選択して、自分だけのデジタル体験を創り出すことができます。また、「My BMW」アプリを使用して、セントラル・ディスプレイの壁紙に自分の写真を設定することも可能です。希望すれば、すべてのディスプレイにおけるユーザーインターフェースデザインの色使いを、選択した画像に合わせて自動的に調整することもできます。さらに、「パーソナルモード」ではユーザーインターフェースのデザインを細部にわたって調整できる豊富なオプションが用意されており、ディスプレイ、操作、車両関連の設定をさらに細かくカスタマイズできます。「スポーツ」「エフィシエント」「サイレント」といったその他の「マイモード」も、パーソナライゼーションの幅をさらに広げてくれます。

BMW ID は、BMW Operating System X によるカスタマイズ可能なドライビング体験への扉を開きます。最大 7 人のユーザーがそれぞれの BMW ID でサインインし、個別の設定であらゆる旅を存分に楽しむことができます。ドライバーが発進する前に、名前呼びかけるメッセージ（希望に応じて個人のプロフィール写真も表示）が、セントラル・ディスプレイに自動的に表示されます。

自己学習機能を備えた「BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタント」によるインテリジェントな音声制御は、Amazon の Alexa+ AI テクノロジー¹によって拡張され、自然なコミュニケーションが実現

BMW パノラミック iDrive のマルチモーダル操作ロジックは、タッチ、ハプティック、音声による操作を組み合わせています。ここで重要な役割を果たすのが BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントであり、あらかじめ定義された音声コマンドを必要とせず、自然な言葉を使って数

多くの車両機能、ナビゲーションの目的地入力、メディアコンテンツの操作を可能にします。

BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントは、新型 BMW 3 シリーズのオペレーティング・システムの中核を成す要素であり、車両をインテリジェントなデジタルコンパニオンへと変える自己学習型アシスタントとして機能します。この音声アシスタントは、おなじみの「Hey BMW」という呼びかけ、またはステアリング・ホイールの右側コントロールパネルにあるボタンを押すことで起動できます。「BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタント」は、ウィンドウ、エアコン、シートの快適性、電話、車載エンターテインメントなどの操作を支援します。また、多数の機能メニューを呼び出したり、特定のアプリを操作したりすることも可能です。さらに、「BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタント」に Amazon の Alexa+ AI テクノロジー¹を統合することで、機能の幅がさらに広がります。Amazon Alexa+を BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントに統合したことは、顧客への付加価値向上に焦点を当てた技術的な飛躍を意味します。採用されている AI 技術¹は、大規模言語モデル (LLM) と呼ばれる生成 AI の一種であり、言語を「理解」し、独自の応答を生成することができます。これにより、対話型の音声インタラクションがさらに充実し、直感的でインテリジェントなやり取り、外部のナレッジベースやクラウドベースのサービス、メディアコンテンツへのアクセス、さらには車両機能の制御が可能になります。BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントを Amazon アカウントに連携させるオプションを利用すれば、音楽の検索やストリーミングが簡単に行えます。また、ユーザーは最新のニュースを手軽にチェックしたり、その他の幅広いコンテンツにアクセスしたりすることも可能です。

必要に応じて、「BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタント」は、利用パターンやその他の要因に基づいて、先を見越した提案を行うことも可能です。「BMW オペレーティング・システム X」は、運転状況、環境分析、車内センサー情報など、より多くの文脈を考慮に入れることで、このインテリジェントな機能をさらに拡張します。「ルーティン」機能は、「BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタント」がドライバーを支援する方法をさらに拡充します。これにより、ドライバーは、自分好みの運転の楽しさを最大限に引き出すためのルーティンを、アシスタントに簡単に教えることができます。例えば、冬場の走行開始時に毎回、ステアリングホイールヒーター、シートヒーター、デフロスト機能がすべてオンになる場合、これらの操作を 1 つの「ルーティン」にまとめて、自動または半自動で実行させることができます。さらに、ドライバーは、その場の状況、シートの占有状況、時刻、温度など、ユーザー定義の要素に基づいて、自分だけのパーソナライズされたルーティンを作成することも可能です。

2026 年 9 月
29

¹ 遅くとも 2026 年下半期から、BMW Operating System 9 および X を搭載するすべての BMW モデルに対して段階的に導入されます。ドイツおよび米国市場を皮切りに、提供範囲は着実に拡大されていきます。

豊富なアプリ、動画、ゲームのラインナップが車内エンターテインメントを新たなレベルへ引き上げ、Amazon Prime Video も新たに追加

「BMW Operating System X」は、顧客にこれまで以上に豊富な車内エンターテインメントの選択肢を提供します。顧客は、無制限のデータ通信を利用して、豊富なアプリ、動画、ゲームのラインナップを便利に利用できるほか、「BMW Digital Premium」パッケージ。あるいは、スマートフォンをモバイルホットスポットとして使用するか、Wi-Fi ネットワークにログインすることで接続が可能です。

BMW 3 シリーズでは、「Video」アプリ (TiVo™提供) を利用でき、ニュースやライブ／オンデマンドのストリーミングプラットフォームなど、絶えず拡大するコンテンツにアクセスできます。車両が駐車中は、セントラル・ディスプレイで動画をストリーミング再生できます。既存のアカウントでサインインすることで、自宅で見ている映画やドラマを、中断した箇所からそのまま再開することができます。「Video」アプリは、2026 年中にすべての BMW ConnectedDrive 対応市場で利用可能になります。2026 年後半には、Amazon Prime Video¹ が、BMW 3 シリーズのお客様向けのデジタルエンターテインメントサービスの新たな目玉として追加される予定です。

BMW Operating System X に標準搭載される「AirConsole」アプリは、すべての乗客に素晴らしいエンターテインメントを提供します。車内でのゲーム体験に合わせて特別にアレンジされた、世界的に有名な名作ゲーム、例えば「UNO®Car Party!」などが楽しめます。マテル社の『Hot Wheels: Xtreme Overdrive™』も、AirConsole の豊富なゲームライブラリにおけるもう一つの目玉です。AirConsole では、プレイヤーはスマートフォンをコントローラーとして使用できるため、すべての乗客が協力したり対戦したりして楽しむことができます。

新たに利用可能となった「Boosteroid」アプリは、BMW のお客様に新たなゲームの楽しみを提供します。このクラウドゲームプラットフォームにより、世界的に有名な大ヒットゲームが車内に直接届きます。その中には、『Forza²』などの人気レーシングゲームも含まれています。

車内エンターテインメント向けのその他のゲームやアプリは、BMW ConnectedDrive Store から入手可能です。一部のゲームでは、一般的なゲーム機用の Bluetooth コントローラーでの操作も可能になりました。BMW ConnectedDrive Store には、すでに世界中で 60 以上のアプリがラインナップされています。カテゴリーには、音楽・オーディオ、エンターテインメント、ゲーム、ニュース、旅行・ローカル情報などが含まれており、その選択肢は今後も拡大し続けます。

- 1 Amazon Prime Video は、BMW の「Video」アプリ、または車載アプリストアからのアプリダウンロードを通じて利用可能です。
- 2 利用可能かどうかは市場やモデルバリエーションによって異なります。車両には BMW Operating System X が搭載されており、BMW ConnectedDrive Store へのアクセスが可能である必要があります。Boosteroid アカウントをお持ちのお客様は、他のゲームプラットフォームで既に所有しているゲームにアクセスできます。

BMW Digital Premium：エンターテインメント、セキュリティ機能、拡張ナビゲーション機能を網羅した、柔軟で充実したパッケージ

オプションの「BMW Digital Premium」パッケージには、「セキュリティ・アシスタント」が含まれており、安心感を高める数々の便利な機能を備えています。例えば、盗難未遂や駐車中の衝突が発生すると、「My BMW」アプリにプッシュ通知が届きます。また、万が一の事態が発生した場合には事故が発生した場合、BMW ドライブレコーダーは直ちに事故現場の車外映像を車内で確認できるようにし、この映像はスマートフォンにエクスポートすることも可能です。盗難防止および駐車時の衝突レコーダーも自動的に動画を記録します。オプションの「リモート・インサイド・ビュー」および「リモート 3D ビュー」機能により、「My BMW」アプリを使って車内を覗き込んだり、車両の直近の周囲状況を確認したりすることが可能です。

さらに、「BMW Digital Premium」には、M 専用の各種車載アプリ¹も用意されています。これらを通じて、車両の技術信号やドライビングダイナミクスデータ、および追加のメディアコンテンツにアクセスできます。「M Cockpit」アプリでは、リアルタイムデータを用いた個別にカスタマイズされたダッシュボードを作成でき、「M Drag Meter」では車両の加速データを表示します。また、「M Channel」では、モータースポーツの動画に加え、BMW M の世界に関する独占的な情報を提供します。

また、「BMW Digital Premium」にはエンターテインメント機能に必要なデータも含まれているため、スマートフォンをホットスポットとして使用したり、Wi-Fi ネットワークに接続したりしてデータ通信を確保する必要はありません。さらに、5G 対応の車両テレマティクスシステムにより、常に最高のストリーミング速度が保証されます。

このパッケージはご希望に応じて有効化でき、継続的なアップグレードに対応するよう設計されています。新しい機能やサービスが随時追加されるため、常に最新の状態であり、コネクティッドで、将来を見据えたデジタルユーザー体験を提供します。

「BMW ConnectedDrive Upgrades」を利用すれば、購入後に車両にさらなるデジタル製品やサービスを追加することができます。ほとんどの

「BMW ConnectedDrive Upgrades」には、無料試用期間のオプションが用意されています。製品によって異なりますが、これらの機能は車両の全

寿命期間、1 年間、または 1 ヶ月間有効にすることができます。これらは、オンラインの「BMW ConnectedDrive Store」、My BMW アプリ、または車内から直接入手可能です。

BMW ConnectedDrive Store は、サードパーティ製アプリの入手、BMW ConnectedDrive アップグレードの有効化、または既存の有効化設定の管理を行うための主要なゲートウェイとして機能します。

ソフトウェア・アップデートにより、BMW 3 シリーズは常に最新の状態を維持します。アップデート機能とプロセスは、BMW Operating System X 向けに特別に強化されています。必要に応じて、アップデートを自動的に実行することも可能です。

1 BMW M Apps は現在、BMW Operating System X およびオプションの BMW M Sport パッケージを搭載した車両でのみご利用いただけます。

BMW Maps ナビゲーション：高度、正確、状況予測に優れた、新たな運転支援表示機能¹を搭載

さらに、BMW Digital Premium により、BMW Maps のナビゲーション機能の幅が広がります。リアルタイムの交通情報、衛星画像、3D 建物モデル、そして先を見越したアドバイスにより、BMW Maps での正確かつ先を見越したルート計画が可能になります。駐車場に関する情報も、より詳細に表示されます。BMW Maps の検索結果や周辺スポットには、今回初めて Google Places の情報が追加されました。Google を BMW のナビゲーションシステムに統合することで、検索結果や周辺スポットの品質と網羅性が大幅に向上し、情報の最新性が確保されます。その結果、お客様はよりスマートな検索、より多くの検索結果、そしてレビューや画像などの追加情報を活用できるようになります。また、クラウドベースの BMW Maps ナビゲーションシステムは、目的地を入力した際、車両の現在の航続距離が移動距離に不足している場合、充電を最適化したルートを算出します（「充電」の章を参照）。

走行中、革新的な「ドライブ・チャレンジ」機能により、ドライバーの加速、ステアリング操作、ブレーキ操作の精度と安全性について、リアルタイムで直接的なフィードバックが提供されます。特に巧みに行われた運転操作も評価されます。「BMW パノラミック・ビジョン」による直接的な視覚的フィードバックは、ドライバーが自身の運転スタイルを改善するのに役立ちます。また、車から降りた後でも、「My BMW」アプリを確認することで、どの走行で「ドライブ・チャレンジ」が有効になっていたか、および自身の運転操作がどのように評価されたかを確認できます。この機

能は、各車種²において段階的に導入される予定です。「My BMW」アプリとの連携は、2026 年後半から利用可能になる見込みです。

1 運転支援機能付き「BMW Maps」は、一部の国や都市、および特定の道路において、「Motorway Assistant」または「Motorway & City Assistant」と組み合わせてのみ利用可能です。利用可能範囲は順次拡大されています。

2 2026 年 11 月以降の生産開始となるすべての BMW 3 シリーズ・モデル。それ以前に製造された BMW i3 モデルについては、ソフトウェア・アップデートを通じて対応されます。

運転支援機能付き BMW Maps¹: オプションの「モーターウェイ・アシスタント」または「モーターウェイ & シティ・アシスタント」を搭載したモデルでは、ドライバー自身の車両およびシステムによって検知された周辺の物体センサーからの情報は、センターディスプレイのフルスクリーン

「BMW Maps」ビューにおいて、3D ナビゲーションマップ上に直接表示されます。バックグラウンドで使用される高精度な地図情報により、ナビゲーションビューでは、実際の走行可能な車線内で車両が正確な位置に配置されて表示されます。ナビゲーションと運転支援に関連するグラフィック、ひいては車両とその周辺環境が、1 つの画面に統合されるのはこれが初めてです。ナビゲーションシステムが道案内を行い、運転支援機能が運転をサポートし、統合された 3D ビューは、この 2 つがどのように関連しているかをドライバーに明確に示します。これにより、実際の走行状況と、車両が認識している走行状況をひと目で比較することが可能になります。これにより、新しく高度なレベル 2 の運転支援機能に対する信頼が高まり、ナビゲーション表示の追従がさらに容易になります。

運転支援機能付き「BMW Maps」¹は、BMW グループが自社開発したもので、パートナー企業である Mapbox のナビゲーションデータと地図技術を採用しています。ナビゲーション、3D 地図表示、運転支援機能を組み合わせた「BMW Maps」は、インテリジェントな車両誘導において、国際市場で差別化要因を提供します。

1 運転支援機能付き「BMW Maps」は、一部の国や都市、および特定の道路において、「Motorway Assistant」または「Motorway & City Assistant」と組み合わせてのみ利用可能です。利用可能範囲は順次拡大されています。

駆動システムとバッテリー

あらゆる駆動方式において、模範的な効率性と心躍るダイナミズムを実現



ハイライト：

- 直列 6 気筒エンジンを搭載した BMW M350 xDrive：アイコンを最先端の解釈で再定義。
- 新型 BMW 3 シリーズ：発売当初から 4 気筒エンジン搭載モデルもラインナップ。
- 高効率かつ最先端のテクノロジーを搭載したガソリンエンジン。
- 完全電気自動車の BMW i3：第 6 世代の電気駆動システムによる技術的な飛躍。
- BMW i3 は、2 種類のモーターバリエーションから選べる仕様でデビュー。
- エネルギー密度を高めるために新開発された円筒形リチウムイオンセルを採用した新世代バッテリー。
- パックレベルでの高エネルギー密度を実現する「セル・トゥ・パック」設計。
- パック・トゥ・オープン・ボディ構造により軽量化を実現。
- パワーおよびデータ制御センター：「エナジー・マスター」。
- 卓越した効率性：EESM および ASM テクノロジーを搭載した電気モーター。

完全電気駆動または高効率の内燃エンジンから選択可能な新型 BMW 3 シリーズの駆動バリエーションは、BMW グループの「テクノロジー・オープン」戦略を印象的に体現しています。これにより、世界中の顧客一人ひとりのニーズに的確に応えることが可能になります。

新型 BMW i3 は、「ノイエ・クラッセ」をベースとした、BMW 3 シリーズ初の完全電気自動車としてデビューを飾ります。このモデルには、根本的に新しい高電圧バッテリーコンセプトを採用した新型ドライブシステムからなる、第 6 世代の BMW eDrive テクノロジーが搭載されています。「ノイエ・クラッセ」の傑出した革新技術の一つとして、BMW の幅広い専門知識を体現しています。

新型 BMW 3 シリーズは、発売当初から「BMW i3 50 xDrive」と「BMW i3 40 xDrive」の 2 つの全電気モデルを用意する。「BMW i3 M60 xDrive M Performance」モデルも、その後まもなく BMW i3 のラインナップに加わる予定だ。

高効率なガソリンエンジンを搭載したモデルも、新世代 BMW 3 シリーズのラインナップを構成しています。BMW グループの最先端内燃機関 (ICE) は、BMW EfficientDynamics エンジンファミリーの最新世代に属しています。これらは、ダイナミックなパフォーマンスと効率性という顧客のニーズを満たすために、さまざまな技術が最適に組み合わせられている点が特徴です。

新型 BMW 3 シリーズの気筒および 6 気筒エンジンには、最新バージョンの 48V マイルドハイブリッド技術が採用されています。プラグインハイブリッドモデルは、後日ラインナップに加わる予定です。

直列 6 気筒エンジンを搭載した BMW M350 xDrive : アイコンを最先端の解釈で表現

内燃エンジンを搭載した BMW 3 シリーズ・ラインナップの先陣を切るのは、新型 BMW M350 xDrive です。このモデルは、BMW 3 シリーズ・レンジにおいて BMW M の世界への入り口となる存在であり、卓越したスポーツ性能の象徴となっています。同時に、BMW の直列 6 気筒エンジンを新たな完成度へと引き上げています。

実際、BMW M350 xDrive は、先代モデルと比較してエンジン出力が著しく向上しています。3.0 リッター直列 6 気筒ガソリンエンジンと 48V マイルドハイブリッド技術で構成される駆動システムは、326 kW/443 hp を発生します。最大トルクは 580 Nm (428 lb-ft) に達します。48V マイルドハイブリッドシステムは、トランスミッションハウジング内にクランクシャフト搭載型スターター・ジェネレーターとして組み込まれた電気モーターを特徴としています。最大出力 13 kW/18 hp を誇るこのマイルドハイブリッドシステムは、加速時のダイナミックなレスポンスを大幅に向上させます。

BMW M350 xDrive には、xDrive インテリジェント・オールホイールドライブと 8 速ステップトロニック・スポーツ・トランスミッションが標準装備されています。0 から 100 km/h (62 mph) までの加速は 4.1 秒で、電子制御による最高速度は 250 km/h (155 mph) に達します。4 本のテールパイプを備えた特徴的なエキゾーストシステムも、そのスポーティなサウンドによって、BMW M350 xDrive の極めてダイナミックなキャラクターを際立たせています。

新型 BMW 3 シリーズ : 発売当初から直列 4 気筒エンジン搭載モデルもラインナップ

BMW M350 xDrive に加え、直列 4 気筒ガソリンエンジンを搭載した 2 つのモデルがラインナップに加わり、高効率な内燃エンジンを搭載した BMW 3 シリーズの発売時のラインナップが完成します。

新型 BMW 320 には、ベルト駆動式スターター・ジェネレーターを備えた 48V マイルドハイブリッドシステムを搭載した 2.0 リッター直列 4 気筒ガソリンエンジンが搭載されています。このエンジンは 155 kW/211 hp の出力を発生し、最大トルクは 330 Nm (243 lb-ft) を発揮します。動力は、標準装備の 8 速ステップトロニック・トランスミッションを介して後輪に伝達される。新型 BMW 320 は、静止状態から 100 km/h (62 mph) まで 7.4 秒で加速し、最高速度は 240 km/h (149 mph) に達する。

エントリーモデルの新型 BMW 318 も、発売当初から同様にラインナップされます。48V マイルドハイブリッドシステムを搭載した 115 kW/156 hp の直列 4 気筒ガソリンエンジンを搭載する BMW 318 は、後輪駆動仕様のみで製造されます。

高効率で最先端の技術を搭載したガソリンエンジン

BMW グループのガソリンエンジンは自社で開発・製造されており、E20 までの対応燃料について認証を受けています。

新型 BMW 3 シリーズ・ラインナップのすべての内燃機関は、最新世代の BMW TwinPower Turbo テクノロジーを採用し、最新バージョンの Valvetronic 完全可変バルブ制御システムを搭載しています。完全可変吸気バルブリフト制御に加え、切り替え可能な排気バルブも備えています。これにより、エンジンのドラッグトルクが約 66% 低減されるという利点があり、回生ブレーキ時のエネルギー蓄積量が大幅に増加します。マイルドハイブリッドシステムの 48V バッテリーに一時的に蓄えられたエネルギーは、非常に効率的に再利用でき、純粋な電気走行さえも可能にします。

新型 BMW 3 シリーズのすべてのガソリンエンジンは、あらゆる運転条件において最適な空燃比を実現するため、ミラー燃焼サイクルを採用しています。ミラーサイクルは吸気バルブの開弁時間を短縮し、エンジンの効率向上に寄与することで、燃料消費量の大幅な削減につながります。

新型 BMW 3 シリーズの超高効率内燃エンジンには、さらに細かな改良も施されています。再設計された吸気ポートや燃焼室に加え、カムシャフトのタイミング、噴射、点火システム、および排気経路の改良も含まれます。新型 BMW M350 xDrive の出力は、新型ターボチャージャーの採用により、前モデルと比較して 275 kW/374 hp から 326 kW/443 hp へと著しく向上しました。BMW 320 も出力が向上しており、前世代モデルと比較して 20 kW/27 hp のパワーアップを実現しています。

完全電気自動車の BMW i3 : 第 6 世代の電気駆動システムによる技術的な飛躍

フル電動の BMW i3 に搭載された第 6 世代 BMW eDrive システムは、前世代モデルよりもはるかに長い航続距離を実現しています。また、充電速度

の向上、800V 技術、双方向充電機能も備えています。

より高度で高効率な電気モーターに加え、第 6 世代では円筒形セルを採用した全く新しい高電圧バッテリーが特徴となっています。他の BMW モデルシリーズの第 5 世代と比較して、航続距離は 30% 向上しており、一部の BMW モデルではその差がさらに大きくなっています。一方、充電速度は 30% 向上しています。

BMW i3 は、2 種類のモーターバリエーションから選べる仕様でデビュー
初の完全電気自動車となる BMW 3 シリーズは、発売当初から「BMW i3 50 xDrive」と「BMW i3 40 xDrive」の 2 つのモデルがラインナップされます。

新型「BMW i3 50 xDrive」は、前輪軸と後輪軸にそれぞれ 1 基ずつ電気モーターを搭載しています。これらにより、最大出力 345 kW/469 hp、最大トルク 645 Nm (475 lb-ft) を発揮します。BMW i3 50 xDrive は、静止状態から 100 km/h (62 mph) まで 4.7 秒で加速します。また、最大航続距離 912 km¹ (567 マイル、WLTP) を達成するなど、その優れた長距離走行能力も際立っています。

新型 BMW i3 40 xDrive も同様に、各車軸に 1 基ずつ電気モーターを配置したインテリジェントな全輪駆動システムを搭載しています。また、最大航続距離は 710 km¹/441 マイル (WLTP) に達し、日常での高い実用性を備えています。最高出力は 275 kW/374 hp、最大トルクは 520 Nm (383 lb-ft) に達します。BMW i3 40 xDrive は、静止状態から 100 km/h (62 mph) まで 5.4 秒で加速します。82.8 kWh (正味容量) の高電圧バッテリーを搭載しています。

フル電動の BMW i3 M60 xDrive セダンは、新たな基準を打ち立てると同時に、ドライバーの心を躍らせます。第 6 世代 M eDrive テクノロジーにより、あらゆる走行を最大限に活かし、2 基の電気モーターがセダンにパワーと精度をもたらします。この極めて効率的な駆動技術は、低エネルギー消費を実現し、スポーティな走りを実用性を完璧に融合させています。BMW i3 M60 xDrive は、近い将来、モデルラインナップに加わる予定です。

1 記載された数値は、規定の WLTP 測定手順に基づいて算出されたものです。実際の数値は、積載量、運転スタイル、走行ルート、天候、補助消費機器（空調システムを含む）、タイヤ、バッテリーの状態など、さまざまな要因によって異なります。

エネルギー密度を高めるために新開発のリチウムイオン円筒形セルを採用した新世代バッテリー

新型 BMW i3 が成し遂げた技術的な飛躍は、新しい円筒形セルを採用した

新世代バッテリーによるものが大きい。直径 46 ミリメートル、高さ 95 ミリメートルのこれらの円筒形セルは、第 5 世代の角形セルと比較して体積エネルギー密度が 20 パーセント向上している。

パッケレベルでの高エネルギー密度を実現する「セル・トゥ・パック」設計

初の完全電気自動車である BMW 3 シリーズの円筒形セルは、その高いエネルギー密度を活かし、モジュール配置や構造要素を介さずに高電圧バッテリーに直接組み込まれています。この「セル・トゥ・パック」設計により、パッケレベルでの高いエネルギー密度を実現するとともに、軽量化とコスト削減を図っています。

セル設計とセル・トゥ・パック構造の組み合わせは、さらに第 6 世代高電圧バッテリーのフラットな設計への道を開きます。これは自社開発によるものであり、セルから車両への統合に至るまで、2008 年以来 BMW グループがバッテリー技術の分野で蓄積してきた専門知識の結晶です。

パック・トゥ・オープン・ボディ構造による軽量化

パック・トゥ・オープン・ボディ構造により、新型 BMW i3 のバッテリーハウジングは構造部材としても機能します。シャーシはオープンフロア構造となっており、高電圧バッテリーが搭載されるとこのフロアが閉じられます。したがって、ハウジングカバーが車両のアンダーボディの役割を担うこととなります。

従来のアンダーボディを省略することで軽量化が図られ、高電圧バッテリーの非モジュール式设计と相まって、BMW i3 の低重心かつ空力効率に優れたフォルムを実現しています。「パック・トゥ・オープン・ボディ」コンセプトには、ボディのねじれ剛性を向上させるという追加の利点もあり、それによって新型の完全電気自動車 BMW i3 のドライビング・ダイナミクスにも好影響を与えています。

動力およびデータ制御センター：「エナジー・マスター」

第 6 世代電気パワートレインにおける電力供給の制御センターが「エナジー・マスター」です。これは、後部シートベンチ下のエリアにある高電圧バッテリーの上部に配置されています。ソフトウェアとハードウェアの両方が BMW グループによって自社開発されたエナジー・マスターは、電気モーターおよび車両の電気システムに電力を供給します。また、高電圧バッテリーからのすべてのデータのインターフェースとしても機能し、インテリジェントかつ効率的、かつ安全なバッテリー動作を保証します。

優れた効率性：EESM および ASM 技術を搭載した電気モーター

xDrive インテリジェント四輪駆動システムを搭載するすべての BMW i3 モデルには、前輪軸と後輪軸の両方に電気モーターが装備されています。主

駆動軸である後輪軸は、800V アーキテクチャ向けに設計された電気励磁式同期モーター（EESM）によって駆動されます。この EESM ユニットは、第 6 世代（Gen6）ドライブテクノロジーの核を成しています。新型 BMW i3 50 xDrive では、定格出力 240 kW/326 hp、定格トルク 435 Nm（321 lb-ft）を発揮します。一方、BMW i3 40 xDrive に搭載される EESM モーターは、195 kW/265 hp の出力と 345 Nm（254 lb-ft）の最大トルクを発生します。

この電気励磁式同期モーターは、三相交流電源を用いて回転磁場を誘導するステーターと、電気励磁式電磁石を備えたローターを基盤としています。したがって、EESM の設計は、ローター内の磁場を柔軟に調整できる点で、永久磁石式モーターとは根本的に異なります。この機能により、低負荷時には磁場を低減して損失を回避することが可能です。逆に、高負荷時には非常に強い磁場を生成できるため、高いトルクと、モーターの最高回転数に至るまで一定の出力を実現します。

システム全体はインバーターによって制御されており、インバーターはバッテリーからの直流電流を必要な交流電流に変換すると同時に、ローターの励磁およびすべての制御・監視プロセスを確実に実行します。その結果、EESM は常に最適な効率で動作します。その技術は競合他社とは一線を画しており、効率と出力供給能力が主な利点となっています。

BMW i3 50 xDrive および BMW i3 40 xDrive の両モデルにおいて、EESM は前輪軸に搭載された非同期モーター（ASM）と組み合わせられており、いずれのモデルでも定格出力 123 kW/167 hp、定格トルク 255 Nm（188 lb-ft）を発揮する。

ASM は誘導の原理に基づいて動作し、コンパクトで軽量のユニットとして EESM を補完していますが、ローターの設計においては大きく異なります。磁石や電気励磁を使用する代わりに、ローターは短絡リングで接続されたアルミニウム製のロッドで構成されています。必要なトルクは、固定子磁界と回転子の間に回転速度の差（スリップと呼ばれる）が生じた際に発生する誘導電流によって生み出される。ASM は極めて堅牢であり、鉄とアルミニウムのみを使用しているため、高い耐熱性とコンパクトで持続可能な設計が特徴である。

EESM と ASM という 2 種類のモーターを組み合わせることで、技術的な飛躍的な進歩への道が開かれ、Gen5 と比較して以下の改善が実現されました。エネルギー損失が 40 パーセント、コストが 20 パーセント、重量が 10 パーセント削減されました。異なるタイプの電気モーターを組み合わせることで、BMW グループは電動モビリティの分野においても、技術にオープンなアプローチをとっていることを明確に示しています。

フル電動の BMW 3 シリーズ向け EESM は、オーストリアの BMW グループ・シュタイアー工場で製造されています。高電圧バッテリーは現在、ハンガリーの BMW グループ・デブレツェン工場から供給されていますが、まもなくバイエルン州の BMW グループ・イルバッハ＝シュトラスキルヒェン工場からの供給に切り替わります。BMW グループ・ランドシュット工場は、エナジー・マスターの供給を担当しています。



BMW の充電

「Neue Klasse」モデルは、革新的な 充電ソリューションにより、充電速度が 飛躍的に向上

ハイライト：

- 第 6 世代 BMW eDrive テクノロジーにより、より速く充電し、より遠くまで走行可能。
- 双方向充電：この革新技術により、BMW i3 は走行中モバイルパワーバンクとして、自宅では柔軟なエネルギー貯蔵装置として機能します。
- 革新的な充電製品——自宅でも外出先でも。
- 簡単、便利、デジタル：充電をユーザーフレンドリーな体験に変えます

「ノイエ・クラッセ」は、その第一弾モデルである BMW iX3 によって幕を開けた、BMW にとっての大きな技術的飛躍を象徴しています。その足跡をたどり、今、BMW i3 が充電速度、航続距離、充電の利便性、そして充電ソリューションの新たな時代を切り拓こうとしています。新型 BMW i3 50 xDrive は、10 分間の充電で最大 423 キロメートル (263 マイル)¹ の走行に十分な電力を確保できます。すでに販売されている 2 番目のフル電動モデルである BMW i3 40 xDrive も、同じ時間で 337 キロメートル (209 マイル)¹ の航続距離に十分な電力を充電できます。

BMW iX3 と同様に、BMW i3 も、800V アーキテクチャなどを活用した最新の第 6 世代 BMW eDrive テクノロジーにより、最大 400 kW の DC 充電速度を実現しています。この第 6 世代 BMW eDrive テクノロジーは、さらに双方向充電への道を開き、自宅ではエネルギー貯蔵装置として、外出先ではモバイル電源として車両を活用するための多様な選択肢を提供します。これにより、マルチファンクション・チャージャーと Vehicle-to-Load 放電アダプター² を使用することで、合計出力 3.7 kW の範囲内で、車外にある複数の電気機器を同時に稼働させることが可能です。

¹ 10 分間の高出力充電後に追加される航続距離は、ISO 12906 に準拠し、WLTP サイクルを用いて、充電インフラが最大 DC 充電出力を可能とすることを前提として算出されました。実際に追加される航続距離および充電性能は、車両の装備、バッテリーの充電レベルおよび状態、周囲温度/バッテリー温度、走行プロファイル、補助消費機器、車両固有の充電設定、および充電ステーションの利用可能な充電出力に依存します。

² 多機能充電器および V2L (Vehicle-to-Load) 放電アダプターは、2026 年第 4 四半期より提供開始予定。

また、お客様は高電圧バッテリーからの電力を自宅で利用したり、電力網に供給したりすることも可能です。

すべての BMW 電気自動車モデルに搭載されている、充電を最適化したルートプランニング機能は、BMW i3 が提供する充電の利便性を如実に表しています。また、「ノイエ・クラッセ」モデルには、完全に自動で開閉する電動式インテリジェント充電フラップなどの新機能も搭載されています。ユーザーは、車載の「BMW Maps」または「My BMW App」を使用して、充電ストップを含むルートを計画することができます。

第 6 世代 BMW eDrive テクノロジーにより、より速く充電、より遠くまで走行可能

BMW i3 に搭載された第 6 世代 (Gen6) BMW eDrive テクノロジーのハードウェアおよびソフトウェアは、「ノイエ・クラッセ」向けに新たに開発されました。Gen6 は、エネルギー密度、充電出力、航続距離の面で技術的な飛躍をもたらします。その結果、前世代の高電圧システムを搭載した BMW 電気自動車と比較して、充電時間が大幅に短縮されます。800V DC 急速充電ステーションでは、BMW i3 50 xDrive は最大 400 kW の充電速度を実現し、わずか 10 分で最大 423 キロメートル (263 マイル)¹ の航続距離を延長できます。BMW i3 40 xDrive は最大 300 kW で充電が可能で、同じ時間で最大 337 km (209 マイル)¹ の航続距離を延長できます。スイッチングマトリックスを内蔵した「エナジー・マスター」のおかげで、400V DC ステーションも引き続き利用可能です。新型 BMW i3 は、オプションとして最大 22 kW の AC 電源での充電にも対応しています。

双方向充電：革新的な技術により、BMW i3 は走行中モバイルパワーバンクとして、自宅では柔軟なエネルギー貯蔵装置として機能

新型 BMW i3 は、今後のすべての第 6 世代電気自動車と同様に、双方向充電機能という新たなイノベーションを搭載します。これにより、バッテリーに蓄えられたエネルギーは、駆動システムや車内の電気機器だけでなく、以下の用途にも利用可能になります：

1 10 分間の高出力充電後に追加される航続距離は、ISO 12906 に準拠し、WLTP サイクルを用いて、充電インフラが最大 DC 充電出力を可能とすることを前提として算出されました。実際に追加される航続距離および充電性能は、車両の装備、バッテリーの充電レベルと経年劣化、周囲温度/バッテリー温度、走行プロファイル、補助消費機器、車両固有の充電設定、および充電ステーションの利用可能な充電出力に依存します。

Vehicle-to-Load (V2L)：この機能により、新型 BMW i3 は、高電圧バッテリーから直接、複数の機器に電力を供給する「移動式パワーバンク」と変わります。例えば、週末の旅行で電気グリルを使ったり、Vehicle-to-Load 放電アダプター¹を備えたマルチファンクション・チャージャーを使

用して、最大 3.7 kW で電動自転車のバッテリーパックを充電することが可能です。

Vehicle-to-Home (V2H) : 双方向充電により、BMW i3 は家庭用エネルギー貯蔵システムとして使用できます。BMW Wallbox Professional および家庭用太陽光発電システムと組み合わせることで、Vehicle-to-Home (V2H) 機能は、車両の充電コストと家庭全体の電気料金の両方を削減できます。同時に、家庭の自給率は最大 30 パーセントポイント向上します。これを実現するために、太陽光発電システムからの余剰電力は一時的に車両バッテリーに蓄えられ、太陽光発電が利用できない時間帯に家庭へ供給されます。

BMW のパートナーである SOLARWATT 社のホーム・エネルギー・マネジメント・システム (HEMS) との統合により、[V2H による双方向充電は](#)、顧客にとってさらに便利で効率的なものとなる見込みです。ここでは、太陽光発電システム、家庭用エネルギー貯蔵システム、電気自動車、その他の電力消費機器が、インテリジェントに連携・制御されます。

その過程で、HEMS は個々の利用パターンに合わせて、すべてのエネルギーの流れを先見的に最適化します。

Vehicle-to-Grid (V2G) : この機能により、BMW i3 は、車両の高電圧バッテリーからの電力を電力網に送電することで、公共の電力網に能動的に統合されます。これにより、BMW グループと E.ON は、この分野における長年にわたる戦略的パートナーシップを継続することになります。一般のお客様は、BMW Wallbox Professional、E.ON の V2G 向け電力料金プラン、および必要なスマートメーターで構成される完全な製品パッケージを注文できるようになりました。「My BMW」アプリによる個別の制御は、シンプルかつ透明性が高いものです。お客様は、現在の充電レベルや目標充電レベルを常に完全に管理でき、アプリ内で直接 E.ON の現在のボーナス状況を確認することも可能です。インテリジェントな保護メカニズムにより、バッテリーの寿命を延ばすよう設計されています。

² マルチファンクション・チャージャーおよび Vehicle-to-Load 放電アダプターは、2026 年第 4 四半期から利用可能となる見込みです。

Vehicle-One-Grid (V1G) を含むコスト最適化した充電 : BMW は、エネルギー市場統合の基礎的な形態として、多数の対応プロバイダーとの連携によるコスト最適化充電も提供している。すべての電動化 BMW 車 (PHEV や BEV の世代を問わず) の顧客は、使用する充電アクセサリの種類にかかわらず、このオプションを活用して自宅での充電コストを削減できます。

革新的な充電製品 – 自宅でも外出先でも

革新的な装備により、自宅でも移動中でも充電体験が最適化されます。BMW の製品は充電の柔軟性を実現し、双方向充電に対応した新製品は車両の航続距離をさらに延伸します。充電ケーブル（モード 3）や多機能充電器は、ボンネット下の 31 リットルの収納スペースに収納可能です。

BMW ウォールボックス プロフェッショナル (DC)：この革新的な新型ウォールボックスは、ご自宅で BMW i3 の充電および放電を可能にするほか、Vehicle-to-Home (V2H) および Vehicle-to-Grid (V2G) 機能にも利用できます。BMW ウォールボックス プロフェッショナル (DC) には 6 メートルの充電ケーブルが付属しており、欧州では最大 11 kW の充電が可能です。

BMW マルチファンクション・チャージャー (MFC)：¹ 自宅や外出先での充電に対応するこの新しい万能ソリューションは、双方向充電機能もサポートしています。人間工学的に改良された充電コネクタ、6 メートルのケーブル、さまざまな用途に合わせたアダプターを備えた新しいデザインにより、MFC はこれまで以上に柔軟な利用が可能になりました。欧州では、および三相の家庭用電源、最大 11 kW の公共充電ステーション（モード 3）、あるいは Vehicle-to-Load (V2L) 機能を使用して、第 6 世代電気自動車の充電および放電を行うためのアダプターが用意されています。

簡単、便利、デジタル：充電をユーザーフレンドリーな体験へ

BMW i3 には、走行中の迅速かつ便利な充電を実現する多くの革新的な機能が搭載されています。これには、個々の条件に基づいて計画された充電最適化ルートや、より高速な DC 充電のための自動バッテリー準備機能、さらに、自動的に開閉するインテリジェントな充電フラップを備えたユーザーフレンドリーな充電スポット、そして充電ステーションでの自動認証を可能にする「Plug & Charge」などが含まれます。

1 2026 年第 4 四半期より利用可能となる見込み。

充電最適化ルート計画：BMW Maps ナビゲーションシステムは、入力された目的地が車両の現在の航続距離を超えている場合、充電スポットを含む充電最適化ルートを算出します。ドライバーは充電ポイントおよび最終目的地に到着した際の希望最低充電レベルを設定し、優先すべき充電ステーション運営事業者を選択できます。AI の助けを借りて、システムは過去の充電サイクルを分析し、例えば現実的に期待できる充電出力、故障の発生率、個々の充電ステーションの正確な位置情報などを把握した上で、最適な充電ステーションをルート計画に組み込みます。顧客に完全な透明性を提供するため、現在の利用状況、充電ポイントの数、コネクタの種類に関する情報も提供されます。充電停止の推定所要時間と費用は、個別に登録された充電料金に基づいて事前に表示されます。走行中は車両と「My

BMW App」が最新情報を同期するため、乗客はルートを確認し、必要に応じて調整することができます。また、充電ステーション周辺の飲食店、遊び場、トイレ、ショッピング施設などの利用可能な施設情報も表示されます。

より高速な DC 充電のためのバッテリー準備：バッテリー準備機能は、DC 充電ステーションでの充電に先立ち、高電圧バッテリーを最適な温度に調整します。これにより、車両を初めて接続した際の充電速度が向上し、充電時間が短縮されます。BMW Maps を使用して DC 充電ステーションへナビゲートする際、BMW i3 は事前にバッテリーを必要な温度まで自動的に加熱または冷却します。また、お客様はセントラル・ディスプレイまたは「My BMW」アプリから、この機能を手動で起動することも可能です。バッテリーの現在の温度状況やバッテリー準備の残り時間は、BMW i3 の「車両ステータス」画面、または「My BMW」アプリでいつでも確認できます。

インテリジェント充電フラップ：新型 BMW i3 の充電ポートは、車体後部の右側に配置されています。充電フラップは、軽く押すだけで手動で開くことも可能ですが、もはやその必要はありません。なぜなら、新型 BMW i3 のインテリジェント充電フラップは、ユーザーが充電しようとしていることを検知すると、自動的に開くからです。フラップが開くきっかけの一つには AI が活用されています。ユーザーが既知または学習済みの充電スポットへ向かう場合、その経路から充電の意図が読み取られ、フラップが開きます。最終的に充電ケーブルが接続されなかった場合、充電終了時や車両が走行準備状態に切り替わったときと同様に、充電フラップは自動的に再び閉じます。

「Plug & Charge Multi Contract」：新型 BMW i3 は「Plug & Charge Multi Contract」機能に対応しており、移動中の充電が特に簡単になります。このサービスを利用すれば、対応する公共充電ステーションを利用する際、アプリや充電カードによるデジタル認証は不要になります。代わりに、車両が技術インターフェース (ISO 15118-2) を通じて自ら認証を行います。この機能の特長は、異なるプロバイダーによる最大 10 件の「Plug & Charge」対応充電契約を車内でデジタル表示できる点にあります。車両が充電ポイントに接続されると、充電ケーブルを通るのは電力だけでなく、必要な契約データも通信インターフェースを介して送信されます。

走行前のバッテリー準備：新しい「走行前のバッテリー準備」機能は、2026 年 7 月 26 日以降、他のすべての第 6 世代 BMW 全電気自動車モデルと同様に、新型 BMW i3 でも利用可能になりました。この機能は、走行開始前に高電圧バッテリーを適切な温度に調整するために使用できます。これにより、ユーザーは出発前から最適な電力消費と最大のパフォーマンス

スを確保することができます。これは、外気温が低い場合に特に役立ちます。この機能はセントラル・ディスプレイから起動できます。バッテリー準備にはエネルギーを消費するため、車両を充電中に実行する必要があります。



ドライビング・ダイナミクス

駆動システムを問わず、本物の業界基準となる BMW 3 シリーズ。モダンでスポーティ、正確かつ快適。

ハイライト：

高効率な内燃エンジンを搭載した BMW 3 シリーズ：

- 卓越した乗り心地と、さらに向上したドライビング・ダイナミクス。
- さらに進化したフロントおよびリアアクスルにより、ハンドリングの精度がさらに向上。
- アダプティブ・サスペンションおよびアダプティブ M サスペンションにより、スポーティな走りを高めつつ、最高の快適性を実現。

BMW M350 xDrive：

- 強烈な感動と、卓越した精度およびダイナミズムを兼ね備えています。
- ボディ剛性の向上。オプションで 20 インチの軽合金ホイールも選択可能。
- 自由奔放なドライビング体験：「ドリフト・モーメント」が、コーナーでの横滑りの楽しさを最大限に引き出します。

BMW i3：

- 「ハート・オブ・ジョイ」が、電動化によるドライビングの喜びにまったく新しい次元をもたらします。
- 「ソフトストップ」により、BMW 史上最もスムーズな制動を実現。
- シャーシ：優れた俊敏性と長距離走行での快適性を標準装備。オプションでアダプティブ M サスペンションも選択可能。

何十年にもわたり、BMW 3 シリーズは世界中で「Sheer Driving Pleasure（純粋なドライビング・プレジャー）」の代名詞となってきました。この象徴的な BMW モデルは、すべての駆動方式において、スポーティさ、精密なハンドリング、そして長距離走行の快適性を卓越した形で融合させています。

新型のフル電動車「BMW i3」は、こうした BMW 3 シリーズならではの特長を「ノイエ・クラッセ」の時代へと引き継いでいます。「ハート・オブ・ジョイ」と呼ばれる高性能コンピューターが、BMW ダイナミック・パフォーマンス・コントロールのドライビング・スタックと連携し、電動モビリティの潜在能力を最大限に引き出します。その結果、BMW i3 は極めて軽快かつ落ち着いたハンドリングを実現しています。

ドライビング・ダイナミクスと乗り心地の新たな基準を打ち立ててきた BMW 3 シリーズの成功の秘訣は、高効率な内燃エンジンを搭載した新型 BMW 3 シリーズ・モデルにも引き継がれています。徹底的に改良されたボ

ボディ構造とシャーシ技術を採用し、安定感と俊敏性の卓越した融合を実現しています。

新型 BMW 3 シリーズは、各モデル固有のコンポーネントに加え、駆動システムの種類に合わせてチューニングされたシャーシおよび制御技術を採用しています。その結果、駆動システムを問わず、BMW 3 シリーズならではの紛れもないドライビング体験が実現されています。新型 BMW 3 シリーズの全モデルには、新開発のエレクトロニクスおよびソフトウェアアーキテクチャが採用されています。各車両の技術的基盤となるのが「BMW ドライビング・スタック」です。この統合されたハードウェア／ソフトウェアシステムにより、走行に関連する各機能が有機的に連携し、限らないドライビングの喜びをもたらすよう設計されています。

完全電気自動車の BMW i3 では、「ハート・オブ・ジョイ」と呼ばれる高性能コンピューターが、BMW ダイナミック・パフォーマンス・コントロールのドライビング・スタックと連携し、この車ならではのまったく新しいドライビング体験を形作っています。「ハート・オブ・ジョイ」は、第 6 世代の完全電気駆動システムアーキテクチャのために特別に開発されました。内燃エンジンを搭載した BMW 3 シリーズ・モデルにも、この駆動システムタイプに合わせて精密に調整された、最適化されたインテリジェントな BMW ドライビング・スタックが採用されています。横方向ダイナミクス管理システムは、ダイナミック・オールホイールドライブ・システムを含め、俊敏性に関連するすべての走行機能を統合しています。つまり、完全電気自動車である BMW i3 の「ハート・オブ・ジョイ」と同様に、「シアー・ドライビング・プレジャー」は、内燃機関（ICE）搭載車の走行ダイナミクスにおいても中心的な指針となっています。安定化機能やエンジン管理機能は、数十年にわたり継続的に開発されてきた、綿密に調整された専用制御ユニットの集合体の一部であり続けています。これにより、各システムの強みが最大限に活かされることが保証されます。両方の「ドライビング・スタック」は、BMW ならではのドライビング体験を実現する上で極めて重要な役割を果たす、特注のハイエンドソリューションです。したがって、新型 BMW 3 シリーズの今後のすべてのバリエーションは、指定された駆動システムに合わせて最適化された、インテリジェントで高性能なドライビング・ダイナミクス・マネジメント・システムの恩恵を受けることになります。

高効率な内燃エンジンを搭載した BMW 3 シリーズ：卓越した乗り心地と向上したドライビング・ダイナミクス

新型 BMW 3 シリーズの内燃機関モデルのシャーシ技術は、ボディ構造と同様に大幅な改良が施されています。その目的は、乗り心地と長距離走行時の快適性をさらに向上させ、よりシャープなダイナミクスを実現し、ステアリング性能を最適化することでした。

先代モデルと比較して、新型 BMW 3 シリーズはフロントおよびリアのトレッド幅が広くなり、ホイールベースも長くなっています。また、ほぼ完璧にバランスが取れた重量配分も、極めてダイナミックなハンドリングを実現する重要な要素です。同時に、最先端の高度に連携したデジタル・ドライビング・ダイナミクス・システムが、あらゆる状況において機敏かつ落ち着いた走行特性を保証します。

新型 BMW 3 シリーズは、極めて精密かつ機敏な走りを実現しています。ここで重要な役割を果たしているのが、改良されたステアリングです。新しいステアリングレシオにより、ドライバーは車両をさらにきめ細かくコントロールできるようになりました。また、選択したドライビングモードに応じて、ステアリングはより快適なフィーリングを提供したり、路面からのフィードバックをより強く感じさせたりします。

改良された統合ブレーキシステムは、一貫したペダルフィールと優れたモジュレーションにより、ドライバーにさらなる安心感をもたらします。また、その卓越した音響特性も特筆すべき点です。

進化したフロントおよびリアアクスルにより、ハンドリングの精度がさらに向上

新型 BMW 3 シリーズのダブルジョイント・スプリングストラット式フロントアクスルは、ポジティブキャストレイルが増大し、エラストキネマティクスが改良されています。これにより、さらに精密なハンドリングやステアリングフィールの向上など、数多くのメリットがもたらされます。同時に、フロントホイールのキャンバー角は前モデルと比較して縮小されています。

5 リンク式リアアクスルは、ネガティブキャストレイルを修正し、ホイールキャンバーを増加させた新しいセットアップを採用しています。シャーシ技術の改良点には、フロントおよびリアアクスルに高プリロードを備えたアンチロールバーマウントが含まれており、これによりボディロールを抑制し、車両をより効果的に安定させることができます。新型 BMW 3 シリーズは、さらに剛性の高いシャーシマウントの恩恵も受けています。標準仕様のシャーシには、リフト量に応じた動作を行う新開発のダンパーが装備されています。また、ホイールの直径は、前モデルの 654 ミリメートルから新型 BMW 3 シリーズでは 680 ミリメートルへと拡大され、快適性がさらに向上するとともに、トラクションも向上しています。

現在のホイールとタイヤのラインナップは、新型 BMW 3 シリーズのよりシャープなドライビング・ダイナミクスに貢献しています。リム内幅の拡大により、タイヤと路面との接地面積が拡大しました。これにより、特に高速コーナリング時の安定性が向上し、車両のハンドリングがさらに落ち着きのあるものとなっています。タイヤのラインナップは、全輪 18 イン

チの仕様から、フロント 245 ミリ、リア 255 ミリの幅を持つ 19 インチおよび 20 インチのミックスサイズタイヤまで多岐にわたります。これにより、日常的な使い勝手や快適性を損なうことなく、パフォーマンスを著しく向上させています。

スポーツ性能の向上と最高の快適性を実現するアダプティブ・サスペンションおよびアダプティブ M サスペンション

最高レベルのハンドリングダイナミクスと快適性を求めるお客様は、ガソリンエンジン搭載の BMW 3 シリーズ・モデルに、オプションとしてアダプティブ・サスペンションまたはアダプティブ M サスペンションを指定することができます。いずれもダンパーに電子制御バルブを搭載しており、各ダンパーが個別に、連続的かつ互いに独立して調整されます。これにより、その場の状況に応じて減衰力を最適に調整することが可能です。また、ダイナミックな走行性能を最大限に引き出すために、専用ホイールを備えた 20 インチのスポーツタイヤも用意されています。後輪のさらに広い内幅と 275 ミリメートルのタイヤ幅の組み合わせにより、卓越したトラクション、最高の安定性、そしてさらにスポーティな走りを実現します。

アダプティブ・サスペンションとアダプティブ M サスペンションは、いずれもスポーツステアリングと組み合わせてのみ利用可能です。このスポーツステアリングは、標準のステアリングシステムよりもダイレクトな操作感を持ち、可変レシオを採用し、BMW モデルならではのステアリングフィールを実現しています。アダプティブ・サスペンション搭載車のドライバーは、「My Mode」を通じて、基本設定の「パーソナル」と「スポーツ」の 2 つの設定から選択できます。

アダプティブ・サスペンションとアダプティブ M サスペンションはいずれも、車両のダイナミックなステアリング挙動を向上させるとともに、ABS 作動時の制動距離を短縮します。

BMW M350 xDrive：圧倒的にエモーショナルな魅力と、優れた精度およびダイナミズムの融合

ラインナップの最上位モデルである BMW M350 xDrive は、新型 BMW 3 シリーズのダイナミックなハンドリング性能を最高レベルで体現しています。M パフォーマンス・モデルに期待される、心躍る俊敏性と精度に加え、日常の使用や長距離走行においても高い快適性を約束します。

BMW M350 xDrive には、アダプティブ M サスペンション、可変スポーツステアリング、M スポーツディファレンシャルが標準装備されています。また、BMW xDrive インテリジェント全輪駆動システムと M スポーツ・ブレーキも標準仕様に含まれています。

アダプティブ M サスペンションは、M スポーツ・パッケージまたは M スポーツ・パッケージ・プロと組み合わせ、他の内燃機関搭載の BMW 3 シリーズ・モデルにもオプションとして設定可能です。このサスペンションには、「パーソナル」、「M スポーツ」、「M スポーツ・プラス」の 3 つの設定があり、「My Mode」を通じて選択できます。「パーソナル」ドライビングモードは快適な日常走行を重視し、「M スポーツ」モードは俊敏性を高めたスポーティなハンドリングを実現します。一方、アダプティブ M サスペンションを「M スポーツ+」モードに切り替えると、最もシャープなハンドリングダイナミクスが発揮され、ドライビングの感動が最大限に高まります。つまり、例えばサーキットでのトラックデイなどにも最適です。「M スポーツ」および「M スポーツ+」のドライビングモードは、BMW M350 xDrive M パフォーマンス・モデルでのみ利用可能です。

ボディ剛性の向上、オプションの 20 インチ軽合金ホイール

新型 BMW M350 xDrive のシャシー技術には、先代モデルには見られなかった数多くの新機能が組み込まれています。スプリングとダンパーの専用チューニングに加え、フロントエンドには追加のストラットが採用されています。新しいタワーからフロントエンドへのストラットと改良されたアンチロールバーのマウントにより、ねじれ剛性と垂直剛性が大幅に向上しています。

リアスポイラーの追加なども相まってリフトが低減されたことで、特に高速域において、さらに精密なハンドリングが実現しています。19 インチの軽合金ホイールが標準装備され、オプションで 20 インチホイールも選択可能です（ご希望に応じてスポーツタイヤも選択可能）。

解放感あふれるドライビング体験：「ドリフト・モーメント」は、コーナーを横滑りしながら駆け抜ける楽しさを最大限に

新型 BMW M350 xDrive は、新機能「ドリフト・モーメント」により、まったく新しいドライビング体験を道路にもたらしめます。ドライビングの純粋さと卓越した敏捷性を兼ね備え、コーナーを横滑りしながら駆け抜ける喜びを最大限に引き出すように設計されています。

セントラル・ディスプレイから作動させると、駆動力が完全に後輪にシフトされ、これまでは BMW M GmbH の高性能モデルにのみ限定されていたドライビング感覚を解き放ちます。M スタイルのマルチプレートクラッチ制御と DSC オフモードを組み合わせることで、純粋かつ極めてスリリングなドライビング体験を実現します。

新機能「ドリフト・モーメント」は 2027 年中に利用可能となる予定です。その後、すでに納車済みのモデルに対しても、ソフトウェア・アップデートを通じて有効化されます。

BMW i3 : 「ハート・オブ・ジョイ」は、電動化によるドライビングの愉し みにおいて、まったく新しい体験を届ける

「ハート・オブ・ジョイ」ハイパフォーマンス・コンピューターは、フル電動の BMW i3 におけるまったく新しいドライビング体験を定義し、さらなる精度、安定性、そして俊敏性を実現します。BMW i3 のより高度なシャーシ技術と相まって、これは「駆けぬける歓び」に新たな次元をもたらします。

この車両の 4 つの「Superbrain」の一つである「ハート・オブ・ジョイ」は、BMW ダイナミック・パフォーマンス・コントロールのドライビング・スタックと連携し、BMW i3 の高性能制御ユニットを形成します。これにより、従来は分散していた制御機能が、中央集約型の高性能アーキテクチャに統合され、統一されたドライビング・ダイナミクス制御コンセプトとして実装されることとなります。BMW において制御システムには長い伝統があり、その始まりは 1979 年に BMW 7 シリーズに初めて導入されたアンチロック・ブレーキ・システム (ABS) にまでさかのぼります。

「ハート・オブ・ジョイ」は、駆動システム、ブレーキ、ステアリングの各サブ機能に加え、充電および回生ブレーキも制御します。その性能は全く新しいレベルにあり、従来のシステムに比べて 10 倍の速さで動作します。この技術的な飛躍は、初のフル電動 BMW 3 シリーズが示す、極めて正確かつ落ち着いたハンドリングに如実に表れています。

その結果、BMW i3 は極めて機敏かつ極めて正確にコーナーを駆け抜けることができます。ドライバーのステアリング操作に瞬時に反応し、軽快な運転感覚をもたらします。

「ハート・オブ・ジョイ」は必要な操作入力の数減らし、一貫性があり再現性の高いコーナリング挙動を実現することで、安心感を高めます。限界まで追い込まれた状況でも、新型 BMW i3 は容易にコントロールでき、利用可能なトラクションを最大限に活用します。BMW 3 シリーズならではのスタイルで、ドライビング・ダイナミクスの新たな基準を打ち立てています。

BMW i3 M60 xDrive は、完全電動の BMW M eDrive パワートレインが生み出すパワーを、瞬時に純粋なドライビング・ダイナミクスへと変換します。「ハート・オブ・ジョイ」と「BMW M ダイナミック・パフォーマンス・コントロール」が、走行関連情報をミリ秒単位で連携させ、極めてダイレクトかつ精密なドライビング体験を実現します。ドライバーはステアリング・ホイールに装備されたシフトパドルを操作することで、M eDrive のレスポンスを能動的に制御し、その場の走行状況に応じて極めて精密にパフォーマンスを調整することができます。車速に応じた独自のサウンドデザインとダイナミックなドライビングフィードバックが、M モデルならではの感動的なドライビング体験を約束します。

BMW 史上最もスムーズな停止を実現する「ソフトストップ」

「ソフトストップ」機能により、エネルギー回生のおかげで、新型 BMW i3 はガクつきやブレーキ音のない、完璧に滑らかな停止を実現します。日常の走行では、BMW i3 はほぼ完全に回生ブレーキによって減速します。従来のブレーキは、スポーティな走行時や緊急ブレーキが必要な場合にのみ使用されます。

シャーシ：長距離走行でも標準装備の優れた機敏性と快適性。オプションとしてアダプティブ M サスペンションも用意

新型 BMW i3 は、BMW が誇る卓越したドライビング・ダイナミクスと、長距離走行における印象的な快適性を兼ね備えている点が際立っています。ここでは、電気自動車専用に設計されたアーキテクチャの利点を活かしています。新型の薄型高電圧バッテリーにより、低重心化が実現されています。

BMW i3 には、リフト連動式ダンパーを備えたシャーシが標準装備されています。フロントアクスルにはダブルジョイント・スプリングストラット、リアアクスルには新開発の 5 リンク式を採用しています。さらにダイナミックなハンドリングを実現するため、フロントとリアには高プリロードのマウントを備えたアンチロールバーが装着されています。

フル電動の BMW i3 には、19-21 インチの軽合金ホイールおよび空力性能に優れたホイールが用意されています。

スポーツステアリングを含むアダプティブ M サスペンションは、M スポーツ・パッケージおよび M スポーツ・パッケージ・プロのオプションとして用意されています。これは BMW i3 50 xDrive と BMW i3 40 xDrive の両方に追加可能で、乗り心地を損なうことなく、新型 BMW i3 のスポーティな性能をさらに高めます。可変式スポーツステアリングは、ステアリングの操作感と車両のダイナミックなハンドリング性能の両方を向上させます。



「Superbrain」と呼ばれる 高性能コンピューターと新アーキテクチャ より高速な演算処理、より柔軟なアップデート

ハイライト：

- 4 基の専用「Superbrain」高性能コンピューター。
- 電子制御システムを 4 つのゾーンに分割：効率向上、軽量化。
- ソフトウェア・アップデートにより、継続的な改善が可能。

「ノイエ・クラッセ」は、ソフトウェア定義型車両として、ソフトウェアおよび電子アーキテクチャにおいても根本的な変革をもたらします。今や、ソフトウェアはこれまで以上に、自動車の特性やドライバーとの相互作用を決定づける存在となっています。

4 基の専用「Superbrain」高性能コンピューター

この新しいアーキテクチャの中核をなすのが、4 基の「Superbrain」と呼ばれる高性能コンピューターです。新型 BMW i3 では、各コンピューターに主要な役割が割り当てられています。まず、ドライビング・ダイナミクスを管理する「ハート・オブ・ジョイ (Heart of Joy) 」があり、さらに自動運転・自動駐車、インフォテインメント、そして車両へのアクセスや空調制御といった基本機能および快適性を担う専用のコンピューターがそれぞれ配置されています。これらを組み合わせることで、前世代モデルに比べて約 20 倍の処理能力を実現しています。

電子システムを 4 つのゾーンに分割：効率向上、軽量化

4 つのゾーンに分かれた配線により、ワイヤーハーネスの複雑さが軽減されています。さらに、新型 BMW i3 では従来のヒューズに代わってスマート e ヒューズを採用しています。このインテリジェントかつ柔軟な電源保護方式は、ゾーン別アーキテクチャと相まって、配線をより短く、より細くすることを可能にし、軽量化を実現するとともに、インテリジェントな電力配分によりエネルギー消費を削減し、車両全体の効率を向上させます。

ソフトウェア・アップデートにより、継続的な改善が可能に

新型 BMW i3 は、すべての新型 BMW 3 シリーズ・モデルと同様に、購入後も長期間にわたり、ソフトウェア・アップデートを通じて新機能、性能向上、あるいは AI ベースの機能を引き続き受け取ることができます。その「Superbrain」、ゾーン別電子アーキテクチャ、そしてスマートなソフトウェアにより、新型 BMW i3 は伝統的なドライビングの喜びとデジタルインテリジェンスを融合させます。これにより、人と車との間に、他に類を見ないほど強烈な共生関係が生まれます。今後発売されるすべての BMW

モデルには、「ノイエ・クラスセ」のために開発された電子・ソフトウェアアーキテクチャが搭載される予定です。

ドライバー・アシスタンス・システム BMW Symbiotic Drive が、アシスト・ドライ ビングの楽しさに新たな可能性を切り拓く



ハイライト：

- 革新的な SAE レベル 2 の運転支援システムとアクティブ・セーフティ機能により、ドライバーの負担を真に軽減し、交通安全性を向上させます。
- オプションの「Motorway & City Assistant」により、高速道路、地方道路、市街地での確実な運転支援を実現。
- 「BMW Symbiotic Drive」は、あらゆる走行状況において、アシスト機能とドライバーの運転行動との間で、スムーズかつ直感的な連携を実現します。
- 「BMW モーターウェイ・アシスタント」¹により、21 カ国でハンズフリー走行が可能。
- 新しいアシスト機能により、都市部でのナビゲーション誘導による部分自動運転が可能²。
- 「ドライビング・アシスタント・プラス」と「BMW Symbiotic Drive」は、世界中でご利用いただけます。
- 先代 BMW 3 シリーズよりもさらに充実したアクティブ・セーフティ・アシスト機能を搭載。
- ステアリング・ホイールから直接新しい「パーク・アシスト」を起動し、AI による駐車スペースの検知と操作計画により、駐車がこれまでになく簡単になりました。
- 「Heart of Joy」と「Superbrain of Automated Driving」のインテリジェントな連携。

次世代のテクノロジーツールキットと人工知能（AI）の活用範囲の段階的な拡大により、新型 BMW 3 シリーズは、部分自動運転および自動駐車のための充実した機能を備え、ドライバーの負担を大幅に軽減します。多くの快適性および安全機能が標準装備されています。

¹ 2026 年末までに、ドイツ、イギリス、アイルランド、ベルギー、オランダ、ルクセンブルク、フランス、スペイン、ポルトガル、イタリア、スイス、リヒテンシュタイン、オーストリア、チェコ、ポーランド、デンマーク、スウェーデン、ノルウェー、米国、カナダ、および日本で導入されます。

² ドイツでは 2027 年から導入が開始されます。その後、他の国々へと順次拡大される予定です。

革新的な SAE レベル 2 の運転支援システムとアクティブ・セーフティ機能により、ドライバーの負担を真に軽減し、交通安全性を向上

新型 BMW 3 シリーズには、BMW Symbiotic Drive を搭載した革新的な SAE レベル 2 の運転支援システムとアクティブ・セーフティ機能が採用さ

れています。これには、先代モデルからの一連の大幅な改良と機能強化が含まれており、高速道路から地方の道路、市街地に至るまで、途切れることなく続く確かな運転支援体験を実現しています。

BMW Symbiotic Drive は、あらゆる走行状況で、運転支援機能とドライバーの運転との間で、スムーズかつ直感的な連携を実現

BMW の先進的なレベル 2 運転支援システムは、支援機能と人間の運転行動とのシームレスな連携を実現するため、細部に至るまで設計されています。その結果、常に制御可能な状態を維持しつつ、顧客に最大のメリットをもたらす、安全で安心感のある運転支援体験が実現します。運転支援が作動している間、ドライバーは必要に応じて加速、ステアリング操作、ブレーキ操作を行うことができ、その過程で支援システムが即座に無効化されることはありません。つまり、どのような運転状況においても、ドライバーは希望すれば、普段通りの運転スタイルを維持しながら、運転支援技術と協調して運転することができます。この高度な協調性は、現時点でこのセグメントにおいて他に類を見ません。BMW パノラミック iDrive の明確な操作ロジックと表示は、直感的な運転支援体験を可能にするだけでなく、常に制御性を確保する役割も果たしており、SAE レベル 2 の部分自動運転機能を安全に利用できるようにしています。

レーン・キープ・アシスタントなどのアクティブ・セーフティ機能においても、ドライバーと車両の共生的な相互作用を体験できます。ステアリング操作や視線の向きに基づいてドライバーの意図が判断されるため、システムは、ドライバーが意図せず車線を逸脱しようとしている場合や、システムが衝突の危険を検知した場合にのみ、警告やステアリング操作による支援を行います。

BMW モーターウェイ・アシスタント¹による 21 カ国でのハンズフリー走行

「モーターウェイ・アシスタント」は、高速道路上で最高時速 130 km/h (81 mph) までのハンズフリー走行を可能にします。また、自動車線変更（ドライバーによる視線信号による確認が必要）と高速道路の分岐点でのナビゲーション機能を兼ね備えているため、21 カ国において「BMW Maps」を活用したナビゲーション誘導による「エントリー・トゥ・エグジット」走行にも対応しています。ドイツ、カナダ、米国の顧客は、前世代の「モーターウェイ・アシスタント」技術を活用し、ハンドルから手を離れた状態で、すでに 2 億 3,000 万キロメートル（1 億 4,300 万マイル）以上を走行しています。

1 2026 年末までに、ドイツ、イギリス、アイルランド、ベルギー、オランダ、ルクセンブルク、フランス、スペイン、ポルトガル、イタリア、スイス、リヒテンシュタイン、オーストリア、チェコ、ポーランド、デンマーク、スウェーデン、ノルウェー、米国、カナダ、および日本で導入予定。

新しいアシスト機能により、都市部でのナビゲーション誘導による部分自動運転が可能になります¹

BMW は顧客に卓越したドライビング体験を提供しており、運転支援においても同様です。2027 年からは、新型 BMW 3 シリーズが初めて、都市部での道路からの逸脱、ロータリーの通過、車線変更、および道路上の優先順位が定められている状況において、（BMW Maps によるルート案内が有効な場合）、ナビゲーションに誘導された部分自動運転アシスト機能を顧客に提供できるようになります。ただし、これはシステムが運転者が注意を払っていることを検知した場合に限られます。この機能拡張は、DCAS（UN ECE R171）に関する第 02 シリーズ改正により確立された、欧州全域にわたる新たな法的枠組みによって可能となりました。これにより、2027 年からは都市部において、システム主導の運転操作が初めて許可されることになります。

すべての新型 BMW 3 シリーズ・モデルには、あらゆる運転支援機能に必要なハードウェアが標準装備されており、お客様は後からご自身の都合に合わせて任意の支援機能を有効にすることができます。運転支援機能は、すべてのデータ保護規制に準拠した上で、新世代 BMW モデルの顧客車両群から収集された匿名化されたデータに基づき、継続的に開発が進められています。これにより、お客様はソフトウェア・アップデート機能を通じて、車両購入後も運転支援システムの改良による恩恵を受け続けることができます。

¹ 2027 年にドイツで導入が開始され、その後、他の国々へと順次拡大される予定です。

「ドライビング・アシスタント・プラス」と「BMW Symbiotic Drive」が世界中で利用可能に

世界中で利用可能な「ドライビング・アシスタント・プラス」は、ドライバーの指示に応じて BMW 3 シリーズの速度や前車との車間距離を制御し、車線内での走行を容易に維持できるよう支援します。また、「BMW Symbiotic Drive」により、必要に応じて「ドライビング・アシスタント・プラス」がドライバーの操作とシームレスかつ直感的に連携して動作することが可能になります。

先代 BMW 3 シリーズよりもさらに充実したアクティブ・セーフティ・アシスト機能

BMW Symbiotic Drive の技術により、BMW 3 シリーズに標準装備されたアクティブ・セーフティ機能は、目立たない「静かな相棒」として、バックグラウンドでインテリジェントかつさりげなく機能します。車両は、ステアリング操作やドライバーの視線の方向から、ドライバーの意図を認識することができます。その結果、例えばレーン・キープ・アシストは、意図せずに車線を逸脱している場合や衝突の危険が差し迫っている場合のみ、警告を発し、ステアリングを制御します。したがって、衝突や道路逸脱の予見可能なリスクがない限り、システムは意図的な操作には介入しない。意図的な操作は、例えばウインカーの使用や、能動的なステアリング操作、あるいはドライバーが肩越しに振り返る動作などによって識別されます。

「静かな相棒」として、インテリジェントかつ目立たない形で機能します。車両は、ステアリング操作やドライバーの視線に基づいて、ドライバーの意図を認識することができます。その結果、例えばレーン・キープ・アシスタントは、車両が意図せず車線を逸脱したり、衝突の危険が差し迫っていることを検知した場合にのみ、警告を発し、ステアリングを制御します。したがって、衝突や道路逸脱の予見可能なリスクがない限り、意図的な操作に対してシステムは介入しません。意図的な操作は、例えば方向指示器の使用や、能動的なステアリング操作、あるいはドライバーが肩越しに振り返る動作などによって識別されます。

新機能には、強化された緊急ステアリング介入が含まれており、これにより車両は自車線内で検知された障害物を自動的に回避できるようになりました。その他にも、車線変更警告、ステアリング介入機能付き側面衝突警告、道路への進入時や駐車スペースからの出庫時に緊急ブレーキ機能を備えた横断交通警告など、数多くの機能が標準装備されています。回避アシスト機能付き緊急ブレーキアシストは、必要に応じて最大制動力を発揮し、正面衝突の回避に効果的に貢献します。新しいセンサー技術のおかげで、このシステムは道路を横断する野生動物の危険に対しても、これまで以上に的確に対応できるようになりました。さらに、標準装備のドア開放

警告機能は、例えば自転車が接近している際にドアの開放を能動的に遅らせるため、危険な「ドアオープン事故」を防ぐことができます。

駐車が驚くほど簡単にステアリング・ホイールから直接新しい「パーク・アシスト」を起動でき、AI による駐車スペースの検知と操作計画が可能に

新型「パーク・アシスト」は半自動駐車が可能で、車両周辺の新しい可視化機能により、検知された駐車スペースの選択がさらに直感的に行えます。自動駐車操作は、これまで以上に迅速かつスムーズに行われます。オプションの「パーキングアシスタント・プラス」は、360°ビューを提供し、縁石ビュー、3D ビュー、洗車ビューを切り替えることができます。また、「マニューバー・アシスタント」は、最大 200 メートルの距離にわたる繰り返し行う操作を記録し、その後実行することが可能です。「パーキング・アシスタント・プロフェッショナル」は、この機能をすべて網羅したパッケージであり、さらに「My BMW」スマートフォンアプリを使用して、最大 6 メートル離れた場所から遠隔で駐車操作や保存済みの操作を実行するための幅広いオプションを提供します。すべての運転支援および駐車支援機能は、後日「BMW ConnectedDrive Store」からデジタルで有効化することも可能です。

「Heart of Joy」と「自動運転の Superbrain」のインテリジェントな連携
新型 BMW i3 における「Heart of Joy」と「自動運転の Superbrain」の緊密な連携は、BMW 史上最もスムーズな停止性能により、運転支援体験をさらに豊かなものにします。これは、停止に至るまで、ガクつきや騒音のない回生ブレーキによるものです。緊急ブレーキを除き、すべてのブレーキ支援操作は、車両が停止するまで純粋に電気モーターの回生ブレーキによって行われます。



生産

あらゆる駆動システムに対応した 最先端の工場。高効率、柔軟性、そしてデジ タル化を実現。

ハイライト：

- ミュンヘン工場で BMW i3 の量産が開始された。
- あらゆる技術のビジョン：BMW iFACTORY。
- 新型 BMW i3 の生産が本格化するにつれ、製造コストが 10%削減された。
- ディングルフینگ工場での生産：新型内燃エンジン搭載の BMW 3 シリーズ。
- 長い伝統：ニーダーバイエルン州における自動車製造。
- シュタイアー製：新型 BMW i3 用電気モーター。
- イルバッハ=シュトラスキルヒェンの新工場が高電圧バッテリーを供給。

1975 年、ミュンヘンの本社工場で、史上初の BMW 3 シリーズが生産ラインから出荷されました。こうして、BMW ブランド史上最も成功を収めたモデルの物語が始まり、これまでに世界中で 1,800 万台以上が販売されています。2026 年、BMW は 1923 年から車両を製造し続けてきたこの歴史的な地で、BMW 3 シリーズがまったく新しい時代を迎えることとなります。初の完全電気自動車となる新型 BMW i3 は、BMW グループ・ミュンヘン工場で生産されており、その準備として、同工場は近年大規模な近代化が進められてきました。2027 年からは、BMW はこの工場ですべての BMW 3 シリーズの車両のみを製造することになります。

高効率な内燃エンジンを搭載した新型 BMW 3 シリーズ・モデルは、1973 年から BMW が車両を生産してきた BMW グループ・ディングルフینگ工場ですべての BMW 3 シリーズの車両が製造されます。現在、ディングルフینگは BMW グループの欧州最大の生産拠点となっています。2025 年だけで約 28 万台の BMW 車がここで製造され、これまでに累計で約 1,300 万台の車両が同工場から出荷されている。

BMW 3 シリーズの全電気駆動システムおよび内燃エンジンの主要コンポーネントは、オーストリアの BMW グループ・シュタイアー工場ですべての BMW 3 シリーズの車両が製造されます。一方、BMW i3 用の高電圧バッテリーは、新設された BMW グループ・イルバッハ=シュトラスキルヒェン工場から供給されます。この組立工場は、ミュンヘンから約 1 時間半の距離にあるニーダーバイエルン州に位置しています。

BMW i3 の量産がミュンヘン工場で開始

ミュンヘン工場は、1 世紀以上前に設立されて以来、絶えず革新を続けてきました。BMW グループは、「ノイエ・クラッセ」の生産に備えて同工場を全面的に改装しつつ、1 日最大 1,000 台の生産を継続しました。工場面積の約 3 分の 1 を占めるように、新しいボディショップ、最先端の車両組立施設、そして新たな物流スペースが建設されました。既存の生産エリアや技術も、近年大幅に更新されています。「ノイエ・クラッセ」の 2 番目のモデルとなる新型 BMW i3 の量産は、2026 年 8 月にミュンヘンで開始されました。

BMW グループ・ミュンヘン工場の責任者であるピーター・ウェーバー氏は次のように述べています。「BMW グループ・ミュンヘン工場は、BMW 3 シリーズの生誕の地です。実際、新型 BMW i3 は、この本拠地である工場の歴史における新たな章の幕開けを告げるものです。BMW i3 は、ミュンヘンにおける『ノイエ・クラッセ』生産の始まりを告げるとともに、この地でのさらなるモデル展開への道筋を築くものです。当工場を未来に対応できるものにしたのは、何よりも、大きな熱意を持って変革と革新を推進するここで働く人々の功績です。私たちは共に日々新たな課題に取り組み、デジタル化と自動化を賢く活用し、高い品質基準を損なうことなく、ミュンヘン工場をさらに効率的なものにするために一步一步前進しています。」

あらゆる技術に向けたビジョン：BMW iFACTORY

BMW iFACTORY は、生産の未来に向けたビジョンであり、効率性、持続可能性、デジタル化に焦点を当てています。この枠組みの中で、世界中の BMW グループの工場は、各拠点に最適なソリューションを導入することで、企業のレジリエンスを強化し、いつでもどこでも確実な納品を保証する能力を高めています。このビジョンは現在、BMW グループ・ミュンヘン工場においても、すべての技術分野にわたって一貫して実装されています。

BMW は、近代的でデジタル化された生産体制に約 6 億 5,000 万ユーロを投資することで、同工場の効率を大幅に向上させています。自動化、標準化、AI の活用、そして製品アーキテクチャの簡素化は、ここで大きな効果をもたらしている施策のほんの一部に過ぎません。バーチャルツインからリアルタイムのデータ分析に至るまで、デジタル技術と人工知能が、計画、生産、品質保証、物流の各段階で体系的に活用されています。

新型 BMW i3 の生産が本格化するにつれ、製造コストは 10%削減

過去数年間、BMW は、先を見据えた計画、開発チームやサプライヤーとの緊密な連携、最先端の製造技術の導入などにより、ミュンヘン工場での生産コストをすでに大幅に削減することに成功しています。生産プロセスの

さらなる最適化、的を絞った自動化とデジタル化が、「ノイエ・クラッセ」車両アーキテクチャと相まって、効率性をさらに高めています。その結果、新型 BMW i3 のデビューに伴い、生産コストはさらに 10%削減されました。これにより、BMW グループ・ミュンヘン工場は、これまで以上に効率的かつ柔軟で、デジタル化が進んだ工場となっています。

ディンゴルフィンク工場での生産：新型内燃機関搭載の BMW 3 シリーズ
BMW グループ・ディンゴルフィンク工場は、BMW グループにとって欧州最大の製造拠点であり、約 18,000 人の従業員が働く職場です。BMW 4 シリーズ（M モデルを含む）、BMW 5 シリーズ（M モデルを含む）、BMW 7 シリーズ、そして完全電気自動車の BMW iX に加え、2026 年 11 月からは新型内燃機関搭載の BMW 3 シリーズもここで生産される予定です。

ディンゴルフィンク工場は、世界で最も柔軟性の高い自動車工場の一つと見なされています。ここでは、1 つの生産ライン上で、異なるモデルシリーズをあらゆる駆動方式のバリエーションで組み立てることが可能です。ディンゴルフィンク工場の責任者であるクリストフ・シュレーダー氏は次のように述べています。「これにより、生産を常に実際の顧客需要に合わせて調整し、市場の変化に迅速に対応することが可能になります。」

長い伝統：ニーダーバイエルン州における自動車製造

ディンゴルフィンクには、ハンス・グラス社（Hans Glas GmbH）に端を発する長い自動車製造の歴史がある。1950 年代から 1960 年代にかけて、この中堅企業は、ドイツで親しまれたマイクロカー「ゴッゴモビル」や、高級クーペ「グラス 2600 V8」をはじめとする他のモデルを製造していた。1967 年、このニーダーバイエルンのメーカーは BMW AG に買収された。

当初、ディンゴルフィンクの新拠点では自動車部品の製造が行われていましたが、1970 年代初頭、BMW は同地に全く新しい自動車工場を建設することを決定しました。1973 年 9 月、ディンゴルフィンクの新しい BMW 工場の生産ラインから、最初の車が完成しました。BMW 3 シリーズと BMW グループ・ディンゴルフィンク工場には、1980 年にさかのぼる長い歴史があります。当時、初代 BMW 3 シリーズの生産がここで開始されました。一時中断を経て、このモデルシリーズは新型 BMW 3 シリーズ・セダンとして、再びディンゴルフィンクに戻ってきました。

BMW グループは、ディンゴルフィンクにおける将来のモデル世代や新技術に年間数億ユーロを投資しており、その過程で同工場を「BMW iFACTORY」へと変革を進めています。ディンゴルフィンクでは、乗用車に加え、プレス部品やシャシー、（電気）駆動システムなどの車両部品、さらにはロールス・ロイス向けのボディシェルも製造しています。

シュタイアー製：新型 BMW i3 用電気モーター

新型 BMW i3 用の第 6 世代 (Gen6) 電気モーターは、他の BMW 3 シリーズ・バリエーション向けの内燃機関とともに、オーストリアの BMW グループ・シュタイアー工場で製造されています。BMW グループ最大のモーター／エンジン工場である同工場は、40 年以上にわたり駆動システムの開発と生産を行ってきました。2025 年だけで、120 万台以上がここからの生産ラインを離れた。製品ラインナップに初の電気モーターが加わったことで、同工場は「技術にオープンなアプローチ」の旗手としての地位をさらに強固なものにしている。

高度に統合された電気駆動ユニットの主要コンポーネントすべて——ローター、ステーター、トランスミッション、インバーター——が現地で製造されています。インバーターの生産のために、最先端のクリーンルーム環境が整備されました。電気駆動コンポーネントは、新設された 2 つの生産ラインで組み立てられています。シュタイアのモーター／エンジン工場には、BMW グループ・ランドシュット工場のアルミニウム鋳造所から電気モーター用ハウジングが供給されています。

2030 年までに、BMW グループは、電動ドライブの開発および生産ノウハウを拡充するため、2022 年のプロジェクト開始以来、シュタイアー拠点に 10 億ユーロ以上を投資する予定です。

新設のイルバッハ＝シュトラスキルヒェン工場が高電圧バッテリーを供給

新設された BMW グループのイルバッハ＝シュトラスキルヒェン工場は、今後、新型 BMW i3 向けの高電圧バッテリーの生産を担当することになります。ニーダーバイエルン州にあるこの組立工場は、ディンゴルフィングからわずか約 30 キロメートル (19 マイル) の距離にあります。

BMW グループは、「ローカル・フォー・ローカル (地元生産・地元供給)」の原則に基づき、高電圧バッテリー向けの各種新組立工場を、現地の自動車生産拠点のすぐ近くに立地させている。新設されるイルバッハ＝シュトラスキルヒェン工場は、ミュンヘンの本社工場をはじめ、ドイツ国内のその他の自動車工場にも第 6 世代 (Gen6) 高電圧バッテリーを供給する。同工場は、世界中で展開される BMW グループの第 6 世代高電圧バッテリー向け 5 つの新組立工場の 1 つであり、2026 年 10 月に操業を開始する予定だ。敷地内には 2 つの組立ラインが設置される。

BMW グループは、この新工場で最大 1,600 人の雇用を創出し、バイエルン州における付加価値の創出を大幅に促進する。

BMW グループの新しいイルバッハ＝シュトラスキルヒェン工場における第 6 世代高電圧バッテリーの製造は、厳格な「ゼロ欠陥」アプローチと最先端の生産技術を融合させたものです。生産プロセスの計画・最適化にデジ

タルツインを活用し、ライン内での完全な品質チェックを実施し、人工知能を的確に活用することで、BMW グループはバッテリー生産の新たな基準を打ち立てています。

製造と製品設計におけるサステナビリティ ライフサイクル全体にわたる脱炭素化



BMW グループは、新型 BMW 3 シリーズにおいても、サステナビリティに対する包括的なアプローチを再び採用しています。その焦点は、製品開発からサプライチェーン、生産、そして使用段階に至るまで、車両のライフサイクル全体にわたる脱炭素化にあります。

新型 BMW 3 シリーズ コメント



BMW AG 取締役会メンバー（開発担当） ヨアヒム・ポスト博士：「最大 912 キロメートル（567 マイル）¹の電気航続距離を誇る完全電動の『ノイエ・クラッセ』モデルであれ、最先端の 48V マイルドハイブリッドおよびプラグイン・ハイブリッド駆動システムを搭載した高効率な内燃機関モデルであれ、すべての BMW 3 シリーズ・モデルは、デジタル化、ドライバーアシスタンス、デザイン、そして BMW ならではのドライビング・プレジャーの各分野における『ノイエ・クラッセ』の革新の恩恵を受けています。その結果、史上最高の BMW 3 シリーズが誕生しました。」

BMW AG 取締役会メンバー（顧客・ブランド・販売担当）のヨッヘン・ゴラー：「BMW 3 シリーズの各世代は、その時代を象徴する車でした。新型 BMW 3 シリーズは、新時代への技術的な飛躍と、すべての駆動システムバリエーションに共通する統一されたデザインによって、この伝統を受け継いでいます。『ノイエ・クラッセ』を基盤とする初の完全電気自動車（EV）である BMW 3 シリーズは、BMW i3 としてデビューを飾ります。このモデルは、際立った新たな特徴によって BMW 3 シリーズの個性をさらに高めています。大量生産セグメントにおける完全電気自動車として、BMW i3 は BMW グループにとって極めて重要な車です。お客様からのフィードバックは、すでにこの車の計り知れない可能性を裏付けています。」

「ノイエ・クラッセ」および BMW コンパクト・ミッドサイズクラス担当責任者、マイク・ライヒェルト博士：「『ノイエ・クラッセ』は、単なる 1 台の車にとどまらないものです。BMW iX3 を通じて、私たちは新たなデザイン言語が、第 6 世代の BMW eDrive テクノロジー、BMW パノラミック iDrive、そして『ハート・オブ・ジョイ』をいかにして独自の総合的な体験へと融合させ得るかを初めて示しました。拡張性があり、グローバルに展開可能な『ノイエ・クラッセ』の革新技術は、現在、当社の全モデルラインナップに導入が進められています。そして、新型 BMW 3 シリーズでは、これらを初めてブランドの核に据えています。このアイコン的存在である 8 代目モデルは、動力源となる駆動システムの種類を問わず、この技術的な飛躍の恩恵を享受しています。その結果、再定義された『純粋なドライビング・プレジャー』が実現しました。」

1 記載された数値は、規定の WLTP 測定手順に基づいて算出されたものです。実際の値は、積載量、運転スタイル、走行ルート、天候、補助消費機器（空調システムを含む）、タイヤ、バッテリーの状態など、さまざまな要因によって異なります。

**ドライビング・エクスペリエンス開発担当シニア・バイスプレジデント、
ミヒアル・アユービ博士：「BMW 3 シリーズは、何十年にもわたり**

『Sheer Driving Pleasure』を体現してきました。新世代モデルでは、この強みを一貫して発展させ、ドライバー、車両、そしてインテリジェントなダイナミック・コントロール・システムとの相互作用を新たなレベルへと引き上げています。新型の完全電気自動車である BMW i3 と、内燃機関およびプラグイン・ハイブリッド駆動を搭載した新型 BMW 3 シリーズ・モデルの両方に、それぞれ独自の『BMW ドライビング・スタック』が採用されています。これらは、最先端の制御技術と当社のダイナミックな DNA を融合させたものです。これにより、BMW 3 シリーズのすべてのドライブバリエーションに、卓越した精度、心を奪われるような敏捷性、そして BMW が誇る安定感と確信に満ちた走りを特徴とする、当社ブランドならではのドライビング体験を吹き込むことが可能になります。つまり、紛れもなく『BMW』らしい走りを実現しているのです。」

BMW グループ・ミュンヘン工場の責任者、ピーター・ウェーバー：

「BMW グループ・ミュンヘン工場は、BMW 3 シリーズの生誕の地です。実際、新型 BMW i3 は、この本拠地である工場の歴史における新たな章の幕開けを告げるものです。BMW i3 は、ミュンヘンにおける『ノイエ・クラッセ』生産の始まりを告げ、ここでさらなるモデルが生産される道を開くものです。」

ピーター・ウェーバーが指摘するように、この道のりは単なる新しい機械や技術だけによって形作られたものではありません。「当工場を未来に向けて整備できたのは、何よりも、大きな熱意を持って変革と革新を推進するここにいる人々の功績です。私たちは共に日々新たな課題に取り組み、デジタル化と自動化を賢く活用し、高い品質基準を損なうことなく、ミュンヘン工場をさらに効率的なものにするために一歩ずつ前進しています。」

BMW グループ・ディンゴルフィング工場の責任者、クリストフ・シュレーダー：「BMW 3 シリーズ セダンを当工場に再び迎え入れることができ、大変嬉しく思います。内燃機関（ICE）搭載モデルを既存の体制に迅速かつ効率的に統合することができ、柔軟なアプローチの一環として、BMW 4 シリーズおよび BMW 5 シリーズと同じ組立ラインで生産を行います。」

オリバー・ハイルマー、ノイエ・クラッセ、BMW コンパクトクラス、BMW M のデザイン責任者：「新型 BMW 3 シリーズは、私たちのブランドの本質を体現しています。そのデザインは、ノイエ・クラッセの明快でミニマルなデザイン言語の中で、スポーティなダイナミズムと時代を超えたエレガンスを融合させています。」

新型 BMW 3 シリーズ 関連リンク



スポーティなドライビングの喜び、一目で BMW とわかるデザイン、そして技術的進歩へのこだわり——これらが BMW 3 シリーズの決定的な特徴です。50 年以上にわたる成功物語の最新章は、内燃エンジンモデル、バッテリー式電気自動車、そしてダイナミクスがさらに強化された M パフォーマンス・モデルという形で、これまで以上に先駆的な領域へと踏み出しています。

以下のリンクから、最新世代のモデル、その装備や機能、そして個人の好みや要件に合わせてカスタマイズできる範囲に関する詳細情報をご覧ください：

[新型 BMW i3](#)

[内燃エンジンを搭載した新型 BMW 3 シリーズ](#)

[ダイナミクスを強化した M パフォーマンスモデル](#)

新型 BMW 3 シリーズ FAQ¹



BMW 318、BMW 320、BMW M350 xDrive の最低価格はいくらですか？

BMW 318 の価格は 49,900 ユーロから、BMW 320 は 54,900 ユーロからです。BMW M の世界への入り口となるモデル、BMW M350 xDrive の最低価格は 80,900 ユーロです。

BMW i3 50 xDrive と BMW i3 40 xDrive の最低価格はいくらですか？

BMW i3 50 xDrive の価格は 65,900 ユーロから、BMW i3 40 xDrive は 59,900 ユーロからです。

新型 BMW 3 シリーズの発売はいつですか？

新型 BMW 3 シリーズの受注は、2026 年 9 月 30 日に開始されます。

新型 BMW 3 シリーズの標準装備にはどのようなものがありますか？

ハイグロス・シャドウライン
拡張サイドミラーパッケージ
BMW コンフォート・アクセス
BMW パノラミック・ビジョン
メモリー機能付き電動シート調整
フロントシートヒーター
2 ゾーンオートエアコン
7 スピーカー搭載 Hi-Fi システム
ドライビング・アシスタント・プラス
DAB チューナー
5G Wi-Fi ホットスポット
タイヤ空気圧監視システム

¹ 本プレスリリースに記載されているすべての装備仕様、燃料消費量／電力消費量、および CO₂排出量は、ドイツ市場におけるものです。その他の市場では異なる場合があります。

BMW M350 xDrive などの M Performance モデルには、どのような追加の特長がありますか？

BMW アイコニック・グロー エクステリア・パッケージ
M イエロー・ライト
M スポーツ エクステリア・アイテム
M スポーツ・パッケージ・プロの専用装備
ブラックの M ミラーキャップ
ブラックの M リアスポイラー
M ロゴの投影
アダプティブ M サスペンション
ローンチコントロール
ブラックの BMW M インテリア・デザイン
M 専用ディスプレイ
ハーマン・カードン製ハイファイ・システム
M スポーツ・ステアリング・ホイール
M スポーツ専用インテリアアイテム

BMW i3 50 xDrive および BMW i3 40 xDrive の燃費と航続距離はどのくらいですか？

BMW i3 50 xDrive の航続距離は最大 912 km (WLTP) ¹で、電力消費量は 18.0–13.4 kWh/100 km です。BMW i3 40 xDrive の航続距離は最大 710 km / 441 マイル (WLTP) ¹で、電力消費量は 17.9–14.3 kWh/100 km¹ です。

すべての BMW i3 モデルに 800V の車載電気システムが搭載されていますか？

BMW i3 は「ノイエ・クラッセ」モデルです。すべてのノイエ・クラッセモデルには、第 6 世代の BMW eDrive、800V テクノロジー、および新型円筒形セルを採用した高電圧バッテリーが搭載されています。

BMW 3 シリーズには、自動運転に関してどのような機能が搭載されていますか？

駆動システムの種類にかかわらず、すべての BMW 3 シリーズ・モデルには、革新的な SAE レベル 2 の運転支援システムと、大幅な改良および機能強化が施されたアクティブ・セーフティ機能、そして「BMW Symbiotic Drive」が搭載されています。

1 記載された数値は、規定の WLTP 測定手順に基づいて算出されたものです。実際の値は、積載量、運転スタイル、走行ルート、天候、補助消費機器（空調システムを含む）、タイヤ、バッテリーの状態など、さまざまな要因によって異なります。

6 気筒エンジンを搭載した BMW 3 シリーズも登場しますか？

はい、BMW M350 xDrive は直列 6 気筒エンジンを搭載します。48V マイルドハイブリッド技術を採用し、最高出力は 326 kW/443 hp を発揮します。

内燃エンジンを搭載した BMW 3 シリーズにも「Heart of Joy」は搭載されますか？

はい。ただし、内燃機関搭載車向けに最適化されています。要するに、「Heart of Joy」とは、ソフトウェア定義車両／インテリジェント・コネクテッド・ビークルの時代における、BMW のドライビング・ダイナミクス技術の核心を表すものです。

私たちは、「Heart of Joy」を、さまざまな駆動システムタイプにまたがる BMW のドライビング・ダイナミクスの指針と捉えています。各モデルにおいて「Heart of Joy」を技術的に実現する最善の方法は、BMW ドライビング・スタックを通じてです。この統合されたハードウェア／ソフトウェアシステムにより、走行に関連する機能が一体となって連携し、「駆けぬける喜び」をもたらすように設計されています。

内燃エンジンを搭載した BMW 3 シリーズでは、数十年にわたり最適化され、その駆動システムに合わせて精密に磨き上げられたインテリジェントな「BMW ドライビング・スタック」を採用しています。ブレーキ、スタビリティ、ドライブコントロールシステムと緊密に連携し、駆動システムのダイナミックな可能性を最大限に引き出します。横方向ダイナミクス・マネジメントは、ダイナミック・オールホイールドライブ・システムを含め、俊敏性に関連するすべてのドライビング機能を統合しています。

BMW i3 の「ハート・オブ・ジョイ」は、「ノイエ・クラッセ」の第 6 世代フル電動ドライブシステム・アーキテクチャのために特別に開発されました。完全に自社開発されたこのドライビング・スタックは、BMW ダイナミック・パフォーマンス・コントロールを搭載し、ドライブシステムとドライビング・ダイナミクスのすべての機能を、初めて中央制御ユニットに統合しています。電気駆動システムは、車両のドライビング・ダイナミクスを形作る上で能動的な役割を果たしており、卓越した効率性と、従来のシステムに比べて 10 倍速いという前例のない制御速度を実現しています。これにより、新たなダイナミックな可能性が開かれ、最高レベルのドライビング体験を提供します。

どちらの「ドライビング・スタック」も、各車の特定の駆動システムに合わせて最適化されたハイエンドなソリューションであり、BMW ならではのドライビング体験を形作ります。したがって、今後発売されるすべてのモデルは、指定された駆動システムに最適にチューニングされた、インテリ

ジェントで高性能なドライビング・ダイナミクス管理システムの恩恵を受けることになります。

すでに納車済みの BMW M350 xDrive に、「ドリフト・モーメント」を後付けすることは可能ですか？

「ドリフト・モーメント」は 2027 年中に提供開始され、その後、すでに納車済みの車両に対してもソフトウェア・アップデートを通じて有効化される予定です。

新しい「ドリフト・モーメント」は、BMW M350 xDrive 以外のモデルでも利用可能ですか？

この機能は、BMW M350 xDrive などの M パフォーマンス・モデルに限定されています。これは、BMW M350 xDrive が BMW M の世界への入り口としての地位を強調するものです。

BMW 3 シリーズの車体サイズは、搭載される駆動システムの種類によって異なりますか？

BMW i3 の外形寸法は、そのコンセプトの違いにより、他の BMW 3 シリーズ・モデルとは若干異なります。BMW i3 の全長は 4,760 mm、全幅は 1,865 mm、全高は 1,480 mm です。ホイール・ベースは 2,897 mm です。一方、内燃機関搭載モデルの全長は 4,765 mm、全幅は 1,850 mm、全高は 1,455 mm です。ホイール・ベースは 2,860 mm です。

BMW M350 xDrive の 0–100 km/h (62 mph) 加速時間はどれくらいですか？

新型 BMW M350 xDrive は、静止状態から 100 km/h (62 mph) まで 4.1 秒で加速します。

BMW M350 xDrive の「M イエロー・ライト」とは何ですか？

新型 BMW M350 xDrive の「M イエロー・ライト」とは、車体前部に配置されたライト・アイコンのことです。これは GT カーや BMW M ハイブリッド V8 から着想を得たレーシングカーのデザインに由来しており、BMW M350 xDrive には標準装備されています。

新型 BMW i3 にはどのようなホイールオプションがありますか？

完全電気自動車の BMW i3 には、19–21 インチの 9 種類の軽量合金製エアロダイナミックホイールから選択して注文できます。

新型 BMW 3 シリーズ全モデルのインテリアは、駆動方式の種類にかかわらず同一ですか？

はい。コンセプト上の必要性による違いは最小限です。

新型 BMW 3 シリーズのすべてのステアリング・ホイールには、標準で上部にセンタースポークが装備されていますか？

いいえ。BMW M350 xDrive には、4 時と 8 時の位置にスポークを備えた M ステアリングホイールが装備されています。この M ステアリング・ホイールは、すべての BMW 3 シリーズ・モデルでオプションとして指定可能です。単体での選択も、オプションの「M スポーツ パッケージ プロ」の一部として選択することもできます。

新型 BMW 3 シリーズでも、ドルビーアトモス形式の音楽を聴くことはできますか？

はい。ドルビーアトモス形式は、オプションで用意されている、専用に設計されたハーマン・カードンのサウンドシステムに搭載されています。これらのシステムはすべて、最高級のオーディオ体験を提供します。

新型 BMW i3 は、最大 400 kW の直流充電で 10 分間充電した場合、何キロメートル分の航続距離を確保できますか？

新型 BMW i3 50 xDrive は、400 kW での 10 分間の充電で、423 キロメートル（263 マイル）1 分の航続距離を確保できます。

新型 BMW 3 シリーズの「モーターウェイ・アシスタント」は、高速道路でのハンズフリー運転を可能にしますか？

はい、最高時速 130 km/h（81 mph）まで、高速道路でのハンズフリー走行が可能です。欧州をはじめとする多くの国々では、自動車線変更（ドライバーによる視線信号による確認後）や、BMW Maps を利用したナビゲーション誘導による「Entry-2-Exit」走行に対応しています。

新型 BMW 3 シリーズはどこで生産されますか？

完全電気自動車の BMW i3 は、ミュンヘンにある BMW グループの本社工場で生産されます。内燃エンジンを搭載した BMW 3 シリーズは、BMW グループの欧州最大の工場であるディンゴルフィンク工場の組立ラインから生産されます。

1 10 分間の高出力充電後に追加される航続距離は、ISO 12906 に準拠した WLTP サイクルに基づいて算出されており、充電インフラが最大 DC 充電出力を可能とすることを前提としています。実際に追加される航続距離および充電性能は、車両の装備、バッテリーの充電状態／コンディション、周囲温度／バッテリー温度、走行プロファイル、補助消費電力、車両固有の充電設定、および充電ステーションで提供される充電出力によって異なります。

新型 BMW 3 シリーズに関する追加情報へのリンクはありますか？ また、すでにモデルのカスタマイズは可能ですか？

はい、すべての駆動システムタイプおよびモデルバリエーションに関する詳細情報をご覧ください：

[BMW i3](#)

[内燃機関搭載の BMW 3 シリーズ](#)

[BMW 3 シリーズ M パフォーマンス・モデル](#)